日本のCLIL実態調査 2021 報告 (実態調査報告1)

2021年10月9日（土）
日本CLIL教育学会　第4回大会

J-CLIL CLIL実態調査委員会
委員長：笹島　茂（東洋英和女学院大学）
jclilresearchgroup@googlegroups.com

J-CLIL CLIL実態調査 2021について

・調査期間：2020年12月末～2021年4月末

・調査対象：日本国内の高等教育機関、初等中等教育機関、
幼稚園・英会話学校等、そして英語以外の言語の教育関係者

・調査方法：SurveyMonkeyを利用したオンラインアンケートへの回答依頼

・アンケートの構成：回答者お１人につき、2種類のアンケート

一般アンケート＋(高等教育/初等中等教育/英語版/英語以外の言語)調査

日本の CLIL実態調2021報告
（実態調査報告１）

■一般 & 英語版調査
池田 真（上智大学）・土屋 慶子（横浜市立大学）

■高等教育調査
仲谷 都（日本大学）・ 油木田　美由紀（東洋英和女学院大学）
藏本　真衣（鹿児島大学）

■初等中等教育調査
鯉渕 健太郎 （横浜女学院中学校高等学校）・高木 由香里（神奈川県立鶴見総合高等学校）
髙田 真紀（玉川学園 高等部）・ 笹島 茂（東洋英和女学院大学）

■英語以外の調査
笹島 茂（東洋英和女学院大学）

CLIL Survey 2021: The Surveys for All and the English ver.

日本のCLIL実態調査 2021: 調査対象一般とEnglish版のまとめ

J-CLIL Research Committee
池田 真（上智大学）
土屋 慶子（横浜市立大学）

A summary of the survey results for all and the English version

日本のCLIL実態調査 2021: 調査対象一般とEnglish版のまとめ

CLILアンケート 一般	**The CLIL Survey for all (n=180)**
CLILアンケート 英語版	**The CLIL Survey English ver. (n=24)**
CLILアンケート 小学校	The CLIL Survey Primary (n=24)
CLILアンケート 中高	The CLIL Survey Secondary (n=38)
CLILアンケート 高等教育	The CLIL Survey Tertiary (n=105)
CLILアンケート その他	The CLIL Survey Other schools (n=7)

A summary of the survey results for all and the English version

日本のCLIL実態調査 2021: 調査対象一般とEnglish版のまとめ (1)

回答者の属性

- **All: 日本人大学英語教員**
- **EN: 英語母語話者・バイリンガル大学英語教員**

CLILとカリキュラム

- **回答者の約7割(All)/9割(EN)がCLIL実践**

CLILとその理論

- **9割以上(All)が４Csを理解**
- **約5割 (All)/ 7割(EN) が理論を実践**

Demographic Data

- All: Japanese teachers of English at universities
- EN: Native/bilingual English teachers at universities

CLIL and Curriculum

- About 70% (All)/ 90% (EN) of respondents implement CLIL.

CLIL Principles

- More than 90% (All) know the 4Cs
- About 55% (All)/70%(EN) apply the theories.

A summary of the survey results for all and the English version

日本のCLIL実態調査 2021: 調査対象一般とEnglish版のまとめ (2)

CLILと入試

- **回答者の4割(All)/5割(EN)がCLILは高校・大学受験対策に適切と回答**

CLIL教材

- **回答者の約7割がCLIL用教材、3割が検定教科書（英語）を使用(All)**

CLILとバイリンガル教育

- **CLILとCBI/EMI/バイリンガル教育は異なる (All/EN)**
- **CLILを英語のみで教えることに否定的 (All/EN)**

CLIL and Entrance Exams

- About 40% (All)/ 50% (EN) of respondents think CLIL is appropriate to prepare students for entrance exams.

Teaching Materials for CLIL

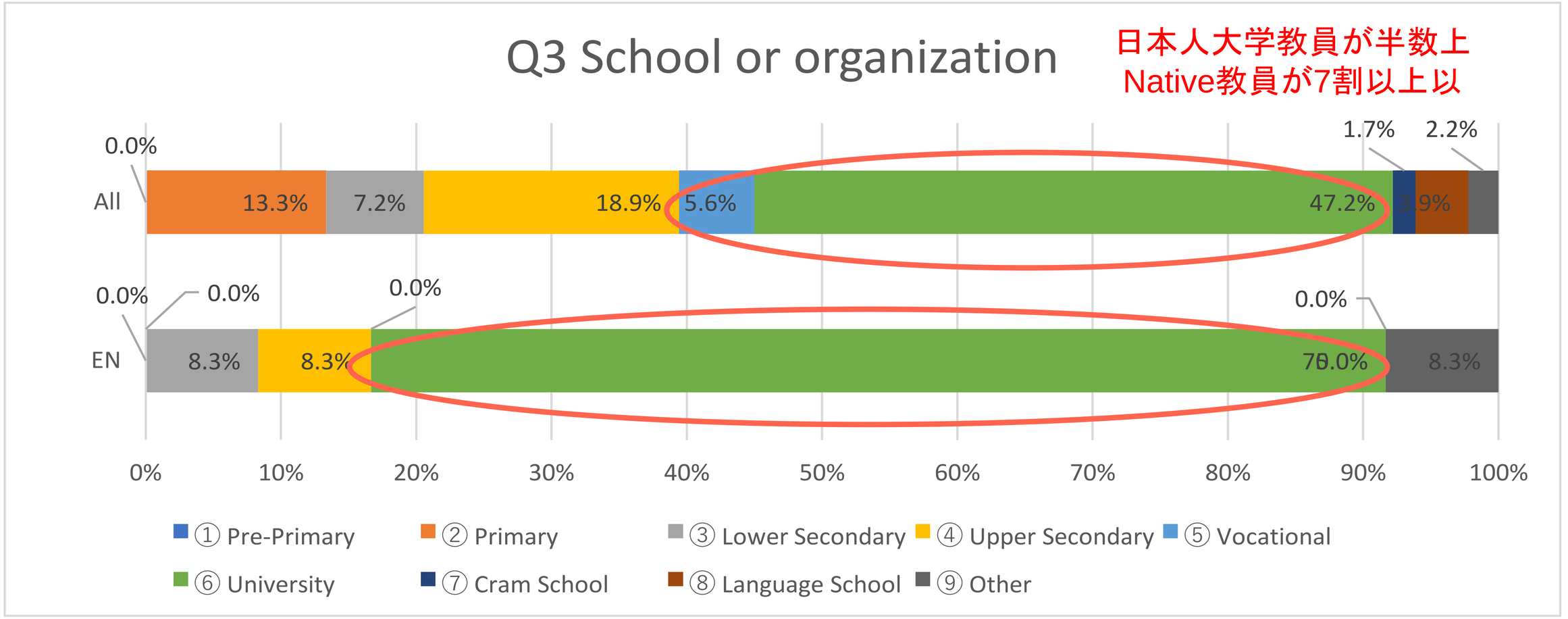
- About 70% of respondents use materials for CLIL teaching and about 30% of them use MEXT approved textbook (All).

CLIL and Bilingual Education

- CLIL is different from CBI/EMI/Bilingual Edu. (All/EN).
- Most disagree with only English in CLIL (All/EN).

Demographic Data 回答者の属性 （１）

All (n=180): More than 50% are Japanese teachers of English at universities
EN (n=24): 75% are Native/bilingual English teachers at universities



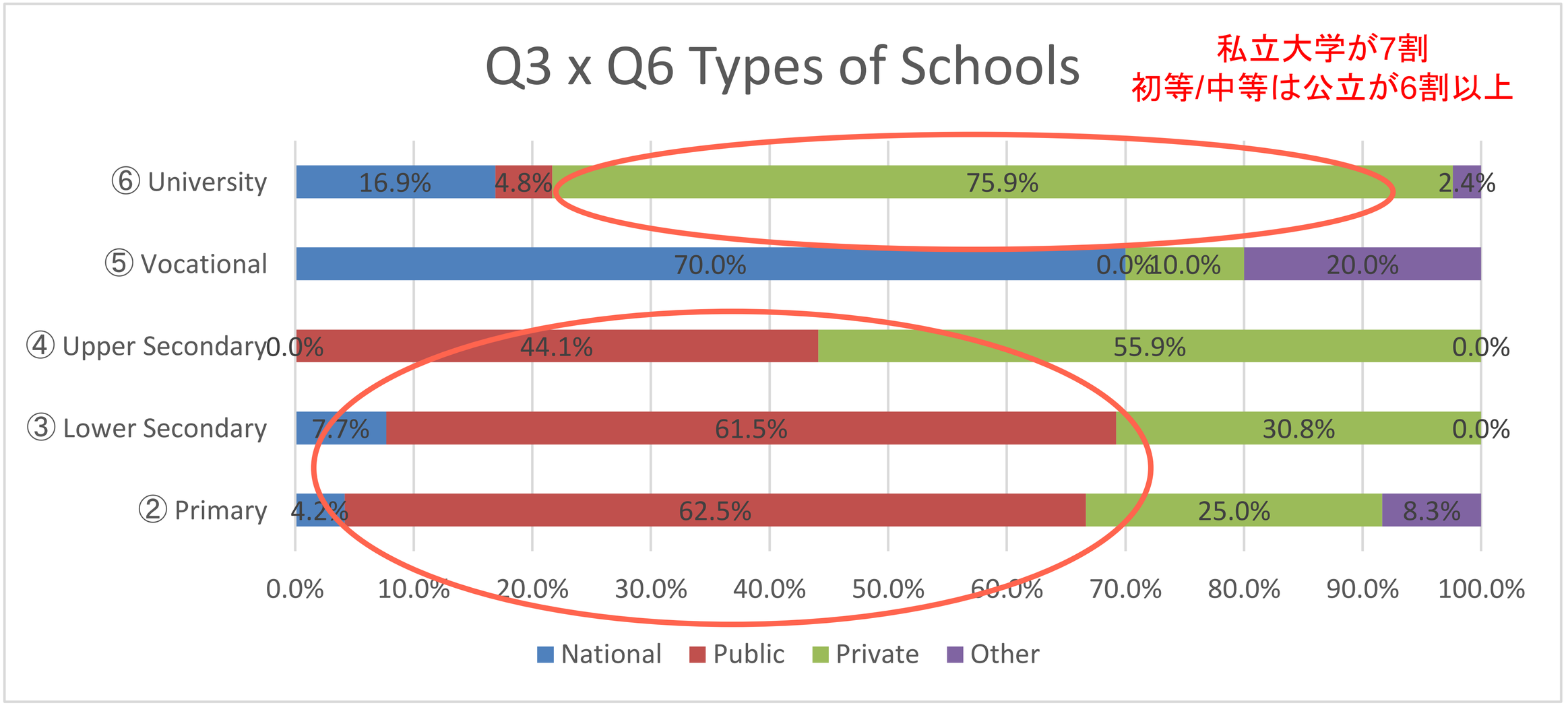
Q3 Affiliation All: Tertiary 52.8 %, Secondary 26.1% EN: Tertiary 75.0%, Secondary 16.7%

Q4 Mother Tongue All: Japanese 84.4 % EN: English 45.8%, Bilingual (EN/JP) 25.0%

Q10 Teaching Field All: English. 87.0%, Soc. Sci./Hum. 16.4% EN: English 100.0%, Soc. Sci./Hum. 41.7%

Demographic Data 回答者の属性（２）

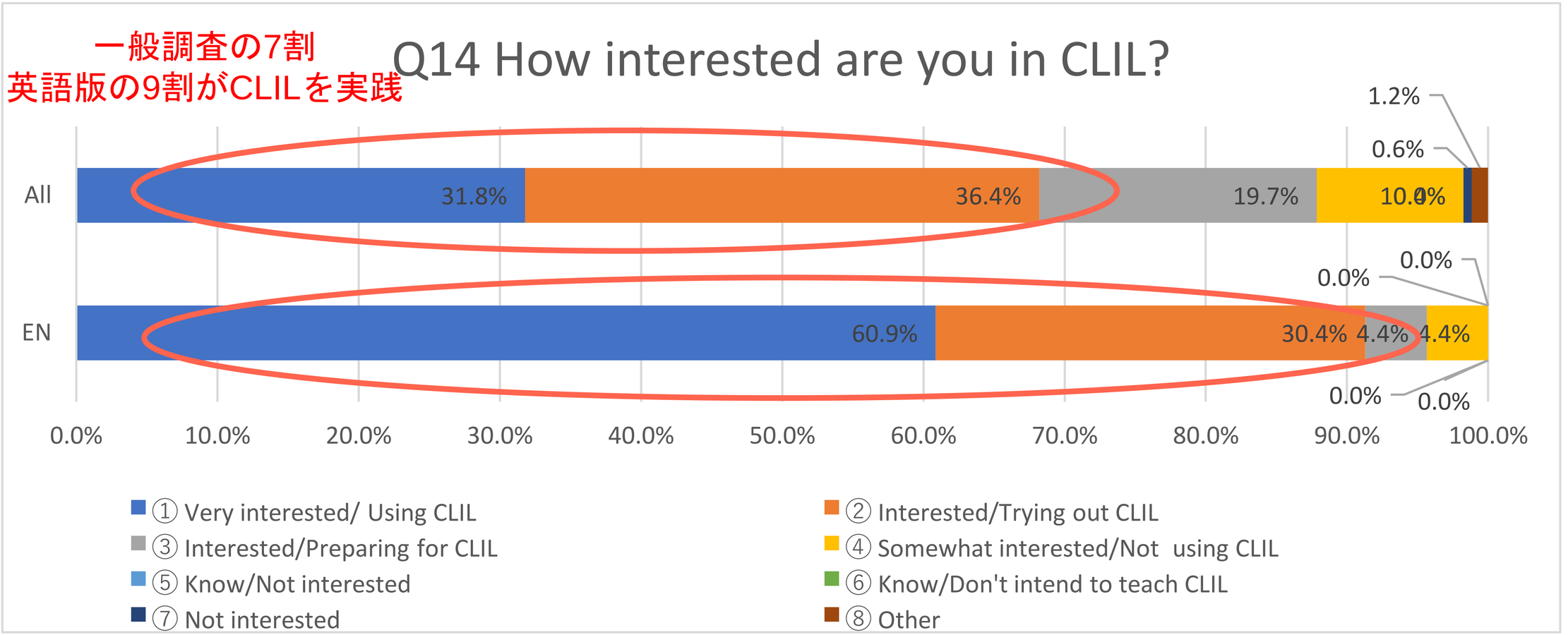
More than 75% of respondents in tertiary education teach at private universities.
The percentages of public school teachers increase in primary/secondary. (All: n=177)



CLIL and Curriculum CLILとカリキュラム

About 70% (All) / 90% (EN) of respondents implement CLIL. (All: n=173, EN: n=23)

一般調査の7割
英語版の9割がCLILを実践



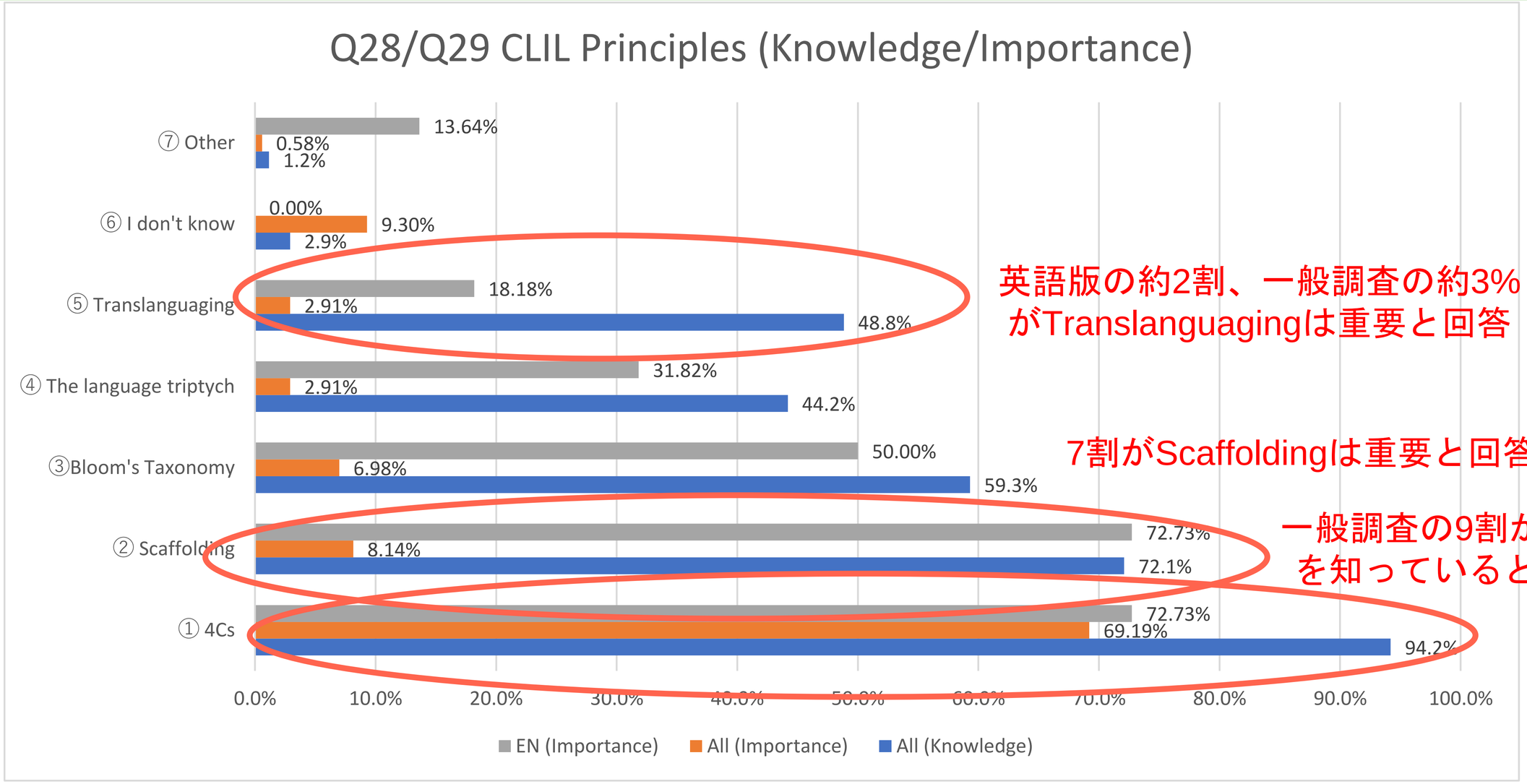
Q38 CLIL Teachers (Language T.)
Q39 CLIL Teachers (Subject T.)

All: (Strong) Agree 30.1%
All: (Strong) agree 20.5%

EN: (Strong) Agree 33.3%
EN: (Strong) agree 38.1%

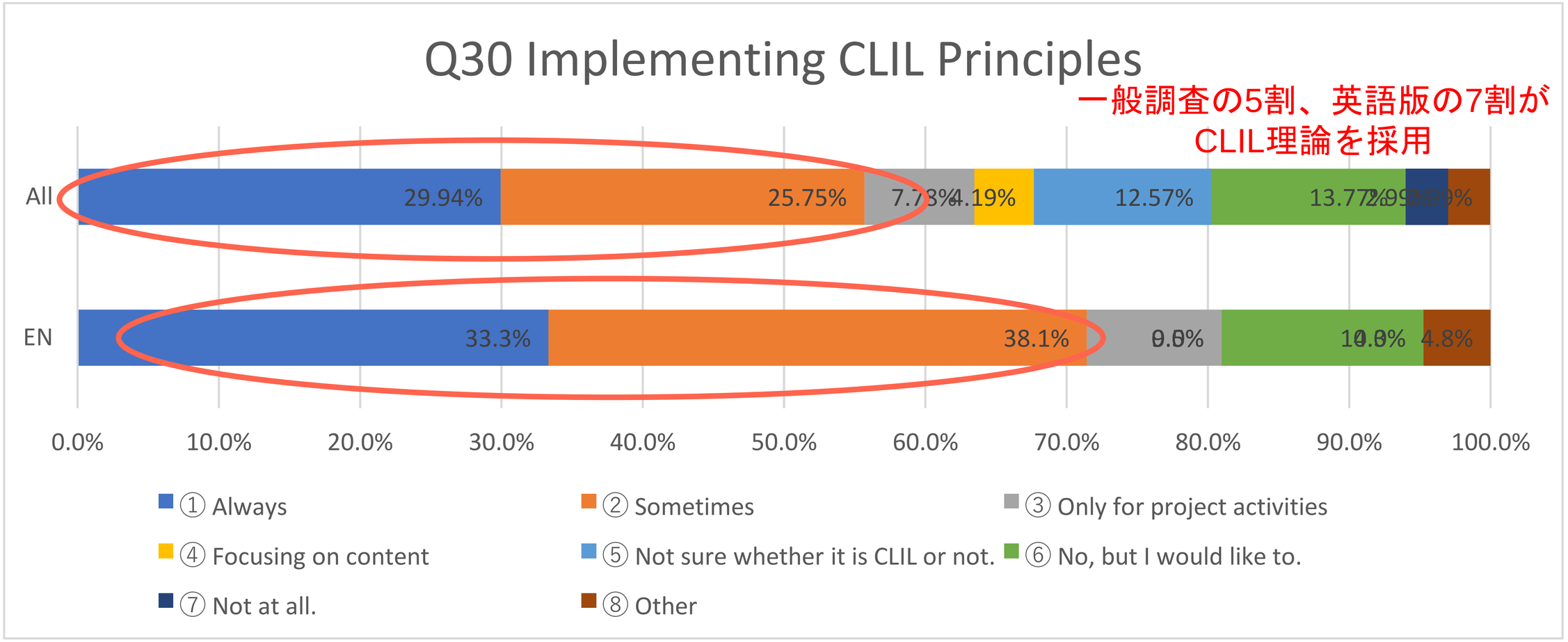
CLIL Principles CLIL理論 （１）

More than 90% of respondents know the 4Cs and more than 70% Scaffolding.
About 20% (EN) / only 3% (All) of respondents think Translanguaging is important. (All: n=172, EN: n=22)



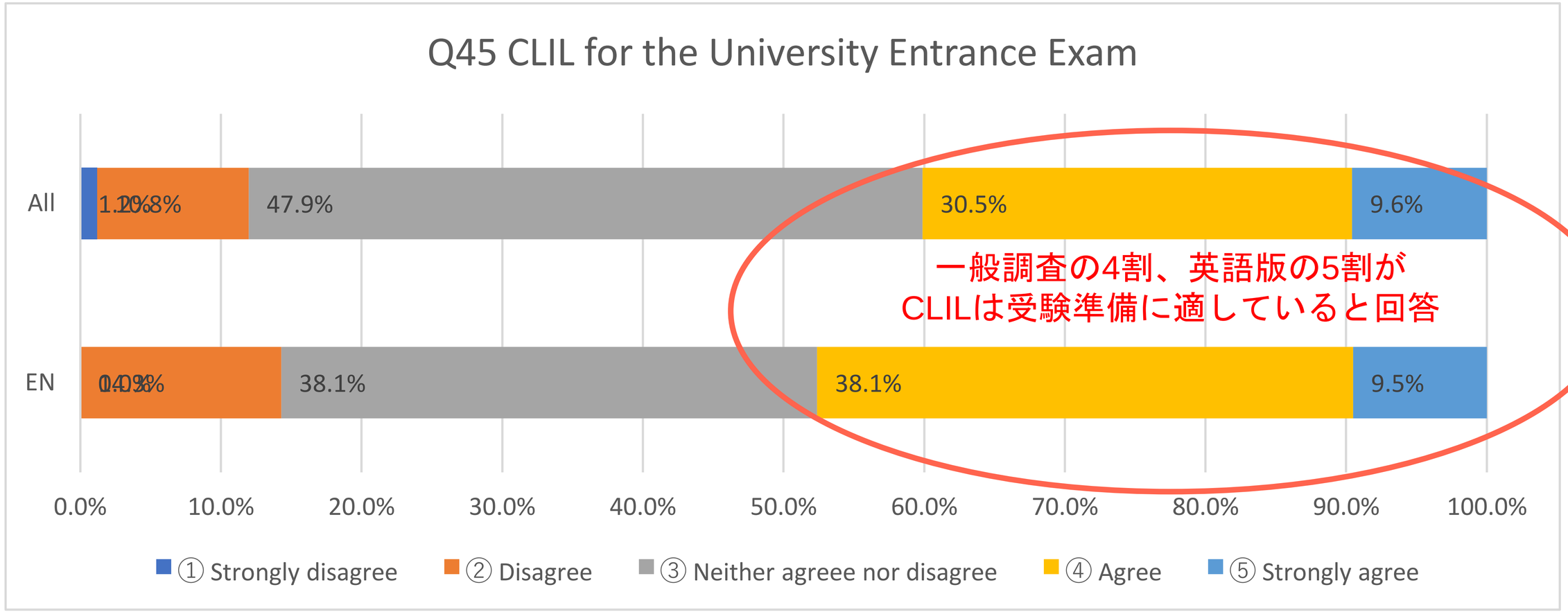
CLIL Principles CLIL理論 （２）

About 55% (All)/ 70% (EN) of respondents apply CLIL principles to their teaching.
(All: n=167, EN: n=21)



CLIL and University Entrance Exams CLILと入試 （１）

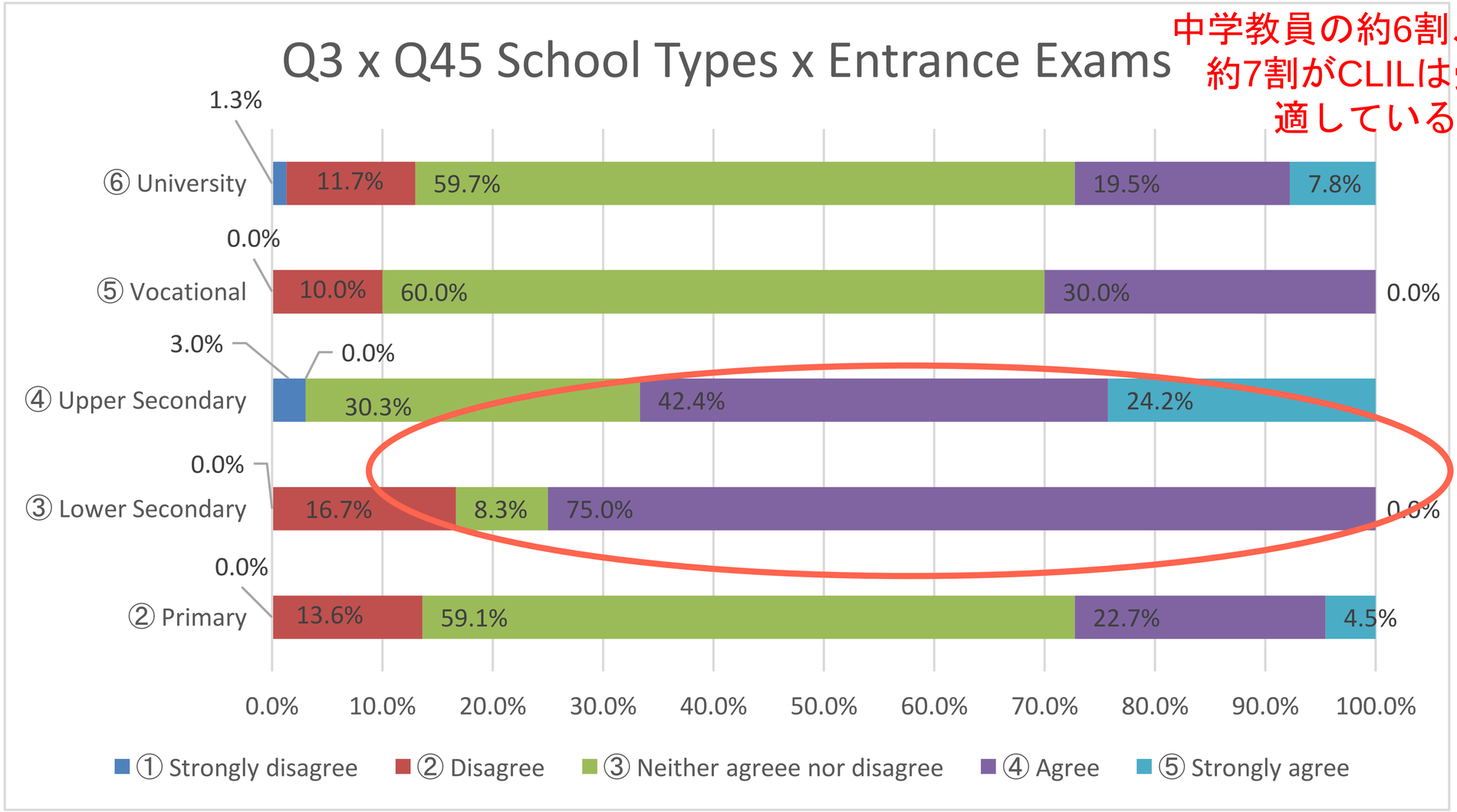
About 40% (All)/ 50% (EN) of respondents think CLIL is appropriate to prepare students for entrance exams. (All: n=167, EN: n=21)



CLIL and Entrance Exams CLILと入試 （２）

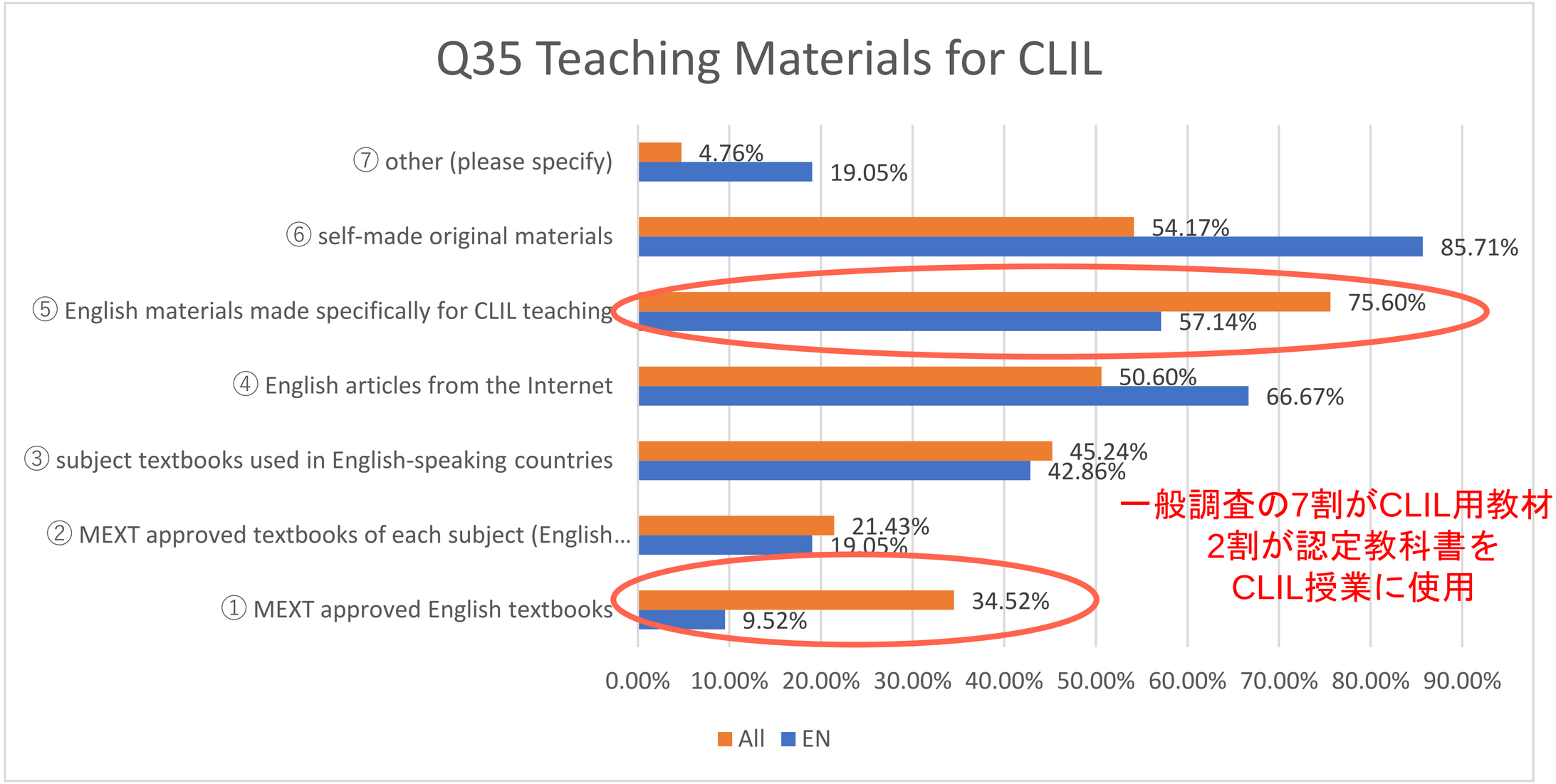
More than 65% of upper secondary school teachers/ 75% of lower secondary school teachers think CLIL is appropriate to prepare students for entrance exams. (All: n=167)

中学教員の約6割、高校教員の約7割がCLILは受験準備に適していると回答



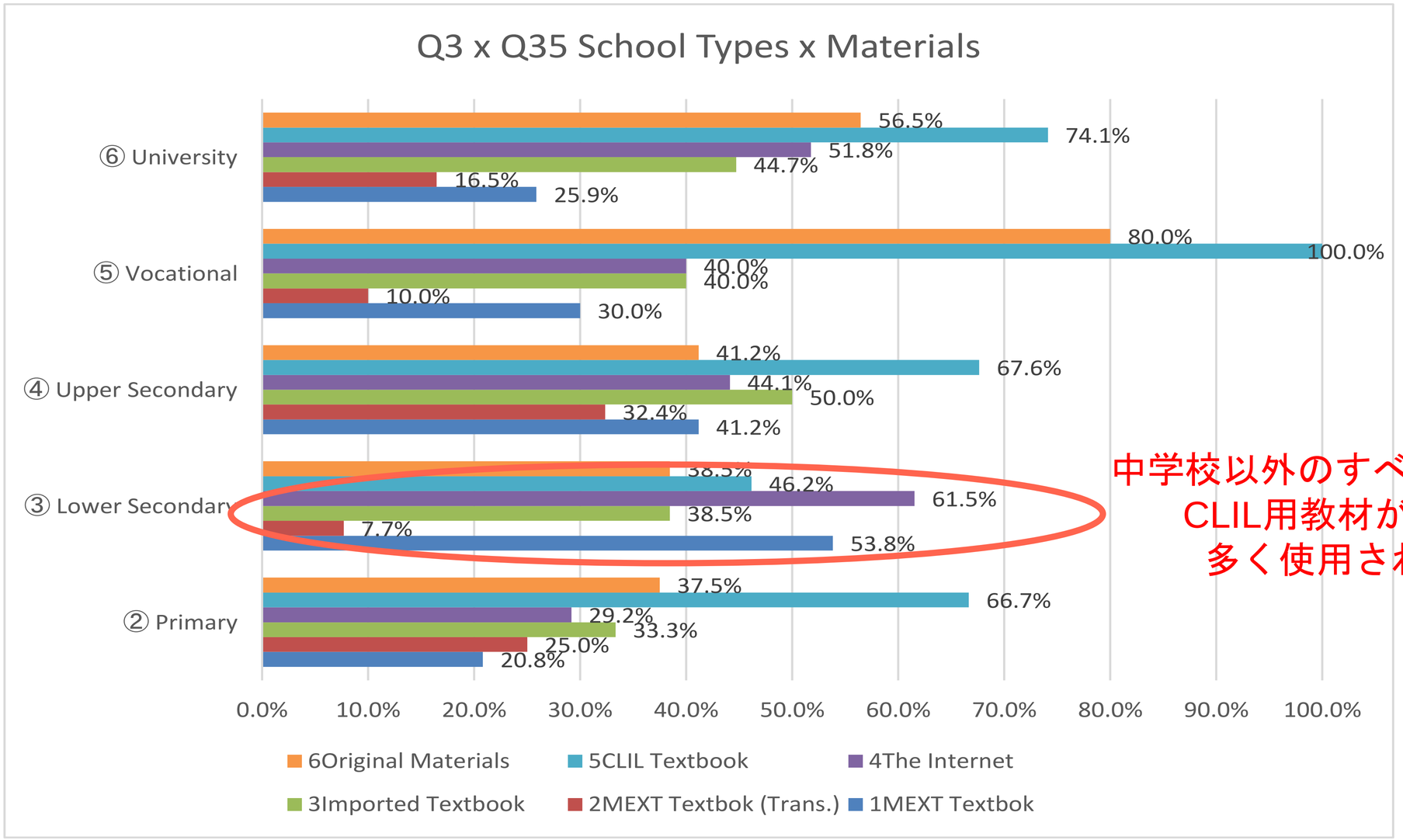
Teaching Materials for CLIL　CLIL教材　（１）

About 70% of respondents use materials for CLIL teaching and about 30% of them use MEXT approved textbook (All). (All: n=168, EN: n-21)



Teaching Materials for CLIL　CLIL教材 （２）

Materials for CLIL teaching are used most in all levels except lower secondary schools . (All: n=168)

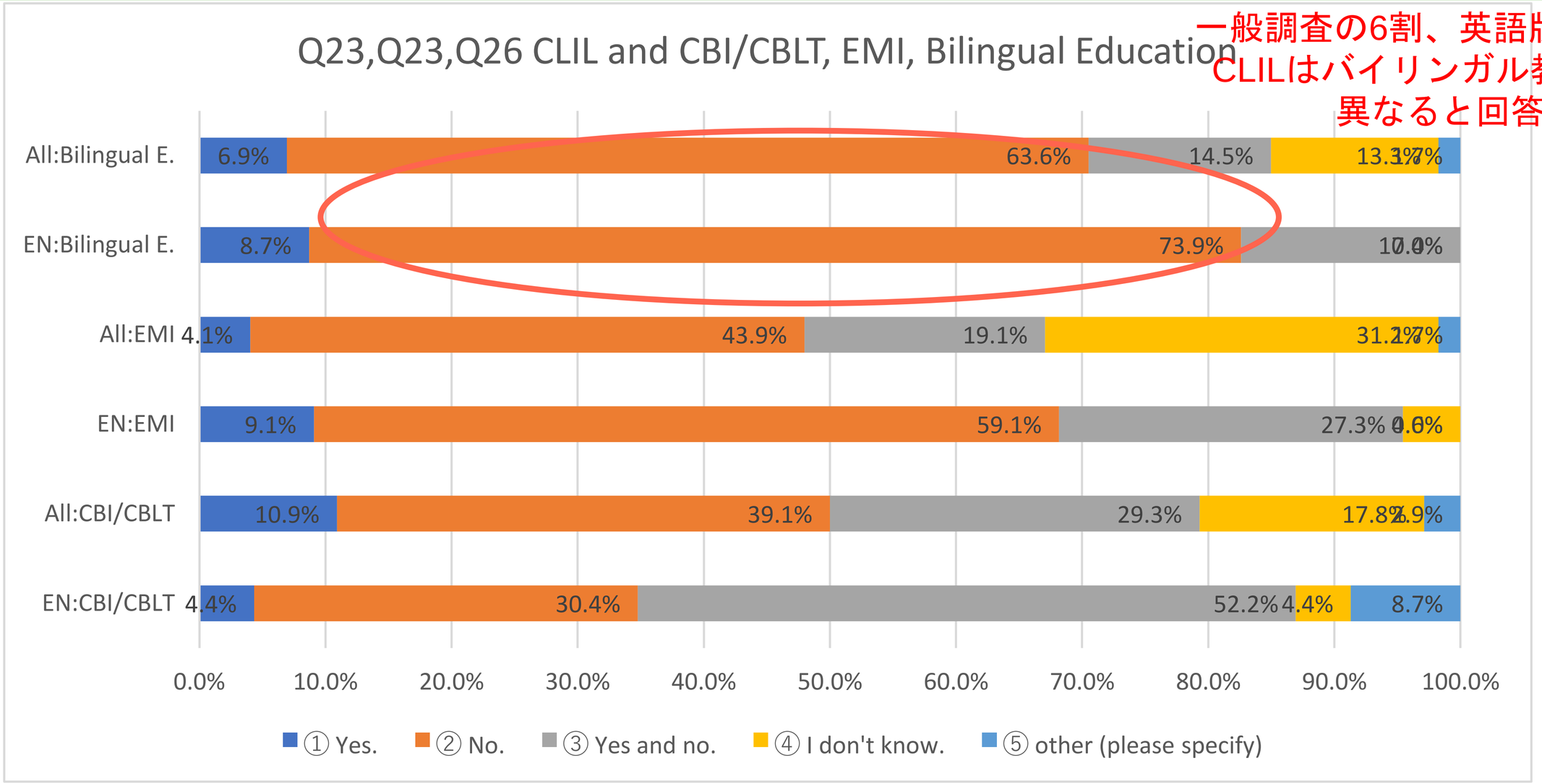


中学校以外のすべてのレベルで
CLIL用教材がもっとも
多く使用されている

CLIL and Bilingual Education CLILとバイリンガル教育 （１）

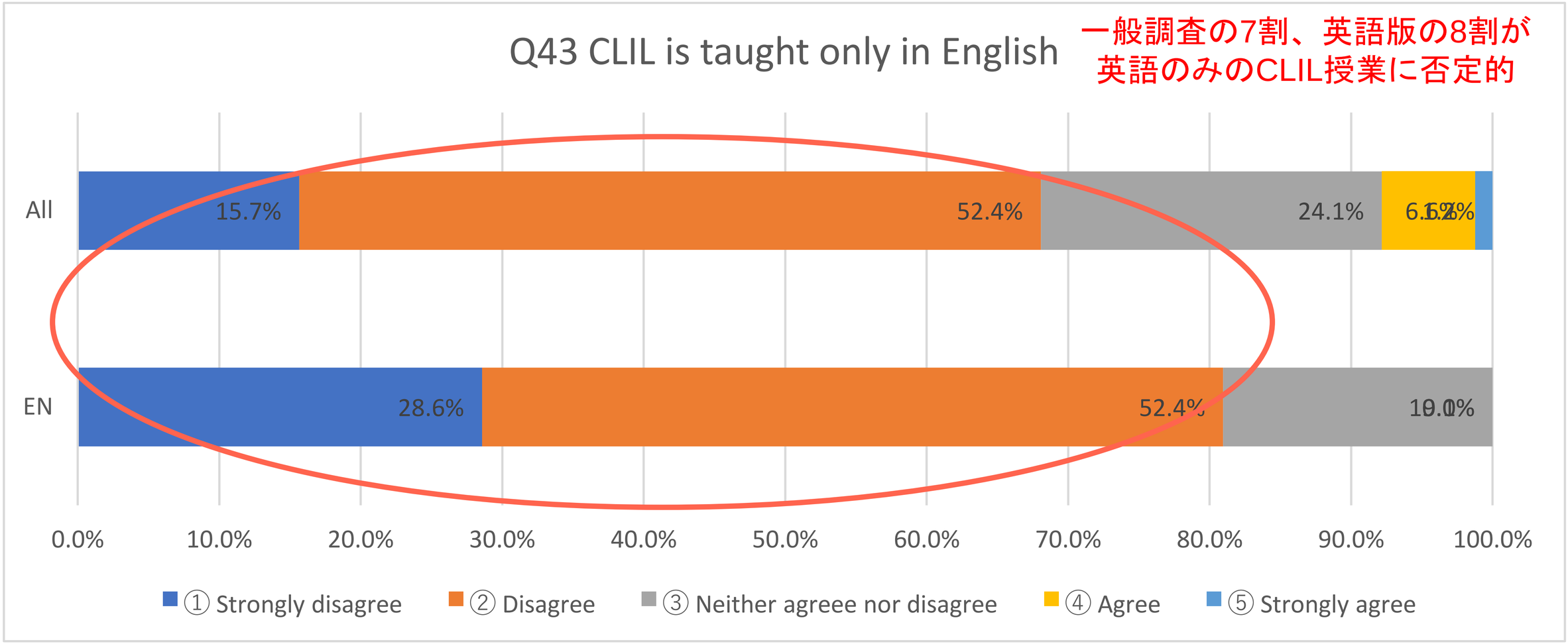
More than 60% (All)/ 80% (EN) of respondents think CLIL is different from Bilingual Education.
(All: n=173, EN: n=23)

一般調査の6割、英語版の9割が
CLILはバイリンガル教育とは
異なると回答



CLIL and Bilingual Education CLILとバイリンガル教育 （２）

About 70% (All)/ 80% (EN) of respondents (strongly) disagree with teaching CLIL only in English. (All: n=166, EN: n=21)



データと潜在力の比較：更なるCLIL普及への戦略

Q02 年齢　　30代(12.9%)を増やす

Q03 校種　　中学(7.2%)を増やす

Q07 設置者　　公立(23.7%)を増やす

Q10 教科　　一般教科(23.2%)を増やす

（英語と日本語のハードCLIL）

Q35 教材　　検定教科書(34.5%)のCLILページを増やす

Q36 研修　　希望の多い(85.3%)CLIL指導者研修を行う

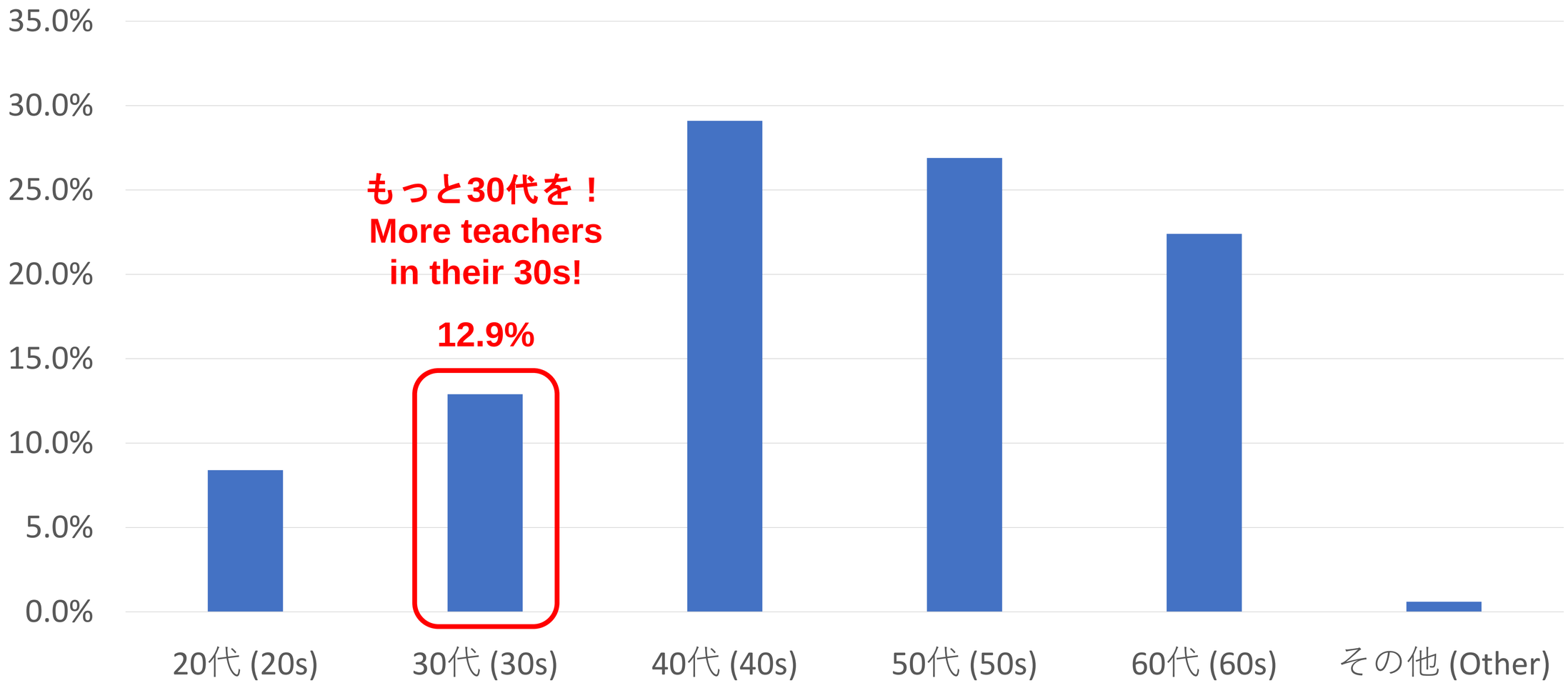
Q45 受験　　受験対策に効果的(40.1%)であることを示す

（*J-CLIL Newsletter*, vol. 7, 「CLILと受験指導」参照）

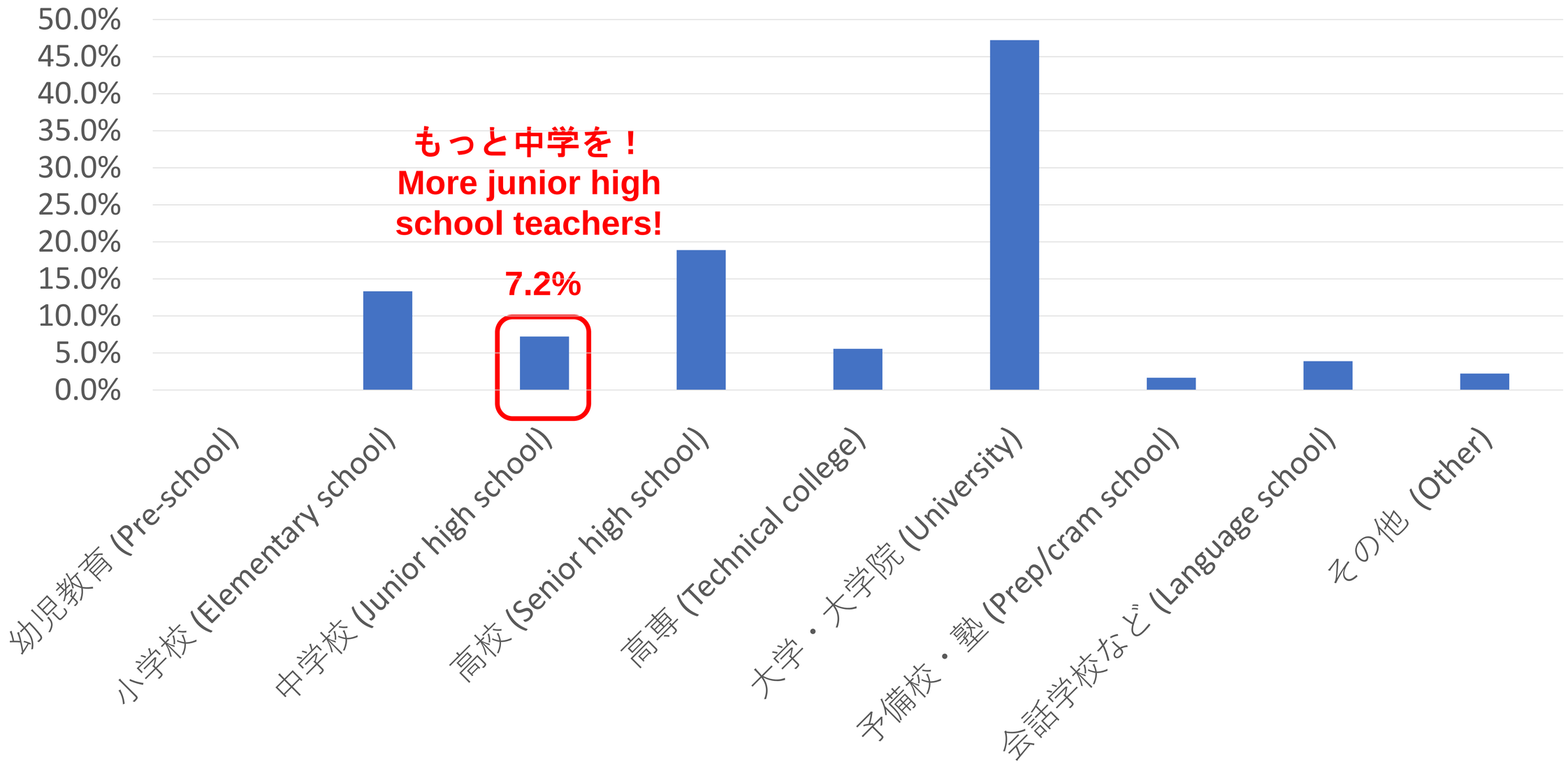
Comparing data and potential：Strategies for wider CLIL diffusion

Q02 Teachers' age	Increasing teachers in their 30s (12.9%)
Q03 School type	Increasing junior high school teachers (7.2%)
Q07 Institution type	Increasing public school teachers (23.7%)
Q10 Subjects	Increasing subject teachers (23.2%) (Hard CLIL in English & Japanese)
Q35 Materials	Increasing CLIL pages in MEXT authorized textbooks (34.5%)
Q36 Training	Providing CLIL teacher education, which is in high demand (85.3%)
Q45 Exams	Showing the effectiveness of CLIL in entrance exam preparations (40.1%) (Cf. *J-CLIL Newsletter*, vol. 7, 'CLIL and entrance examinations' [Japanese])

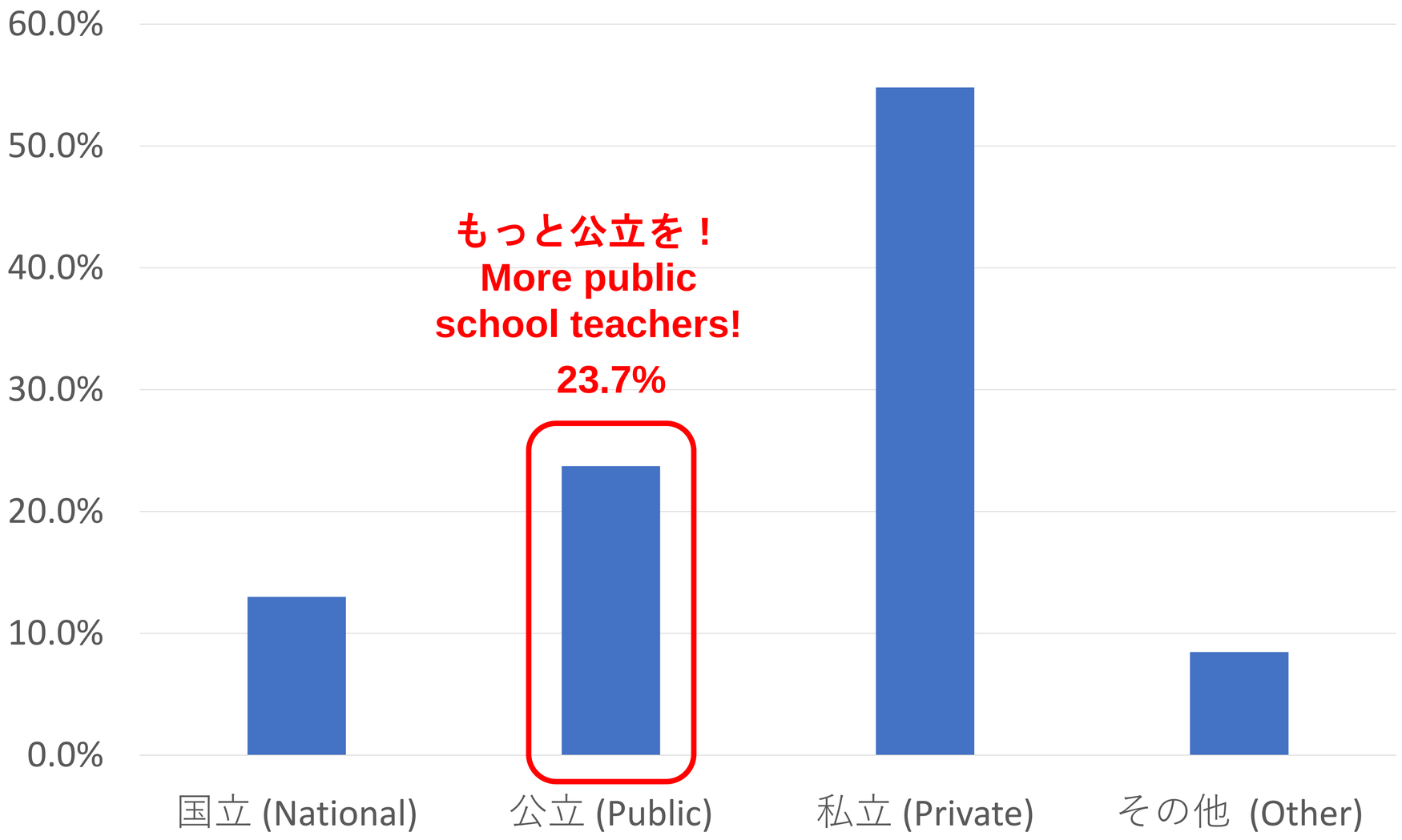
Q2 年齢 (What is your age?)



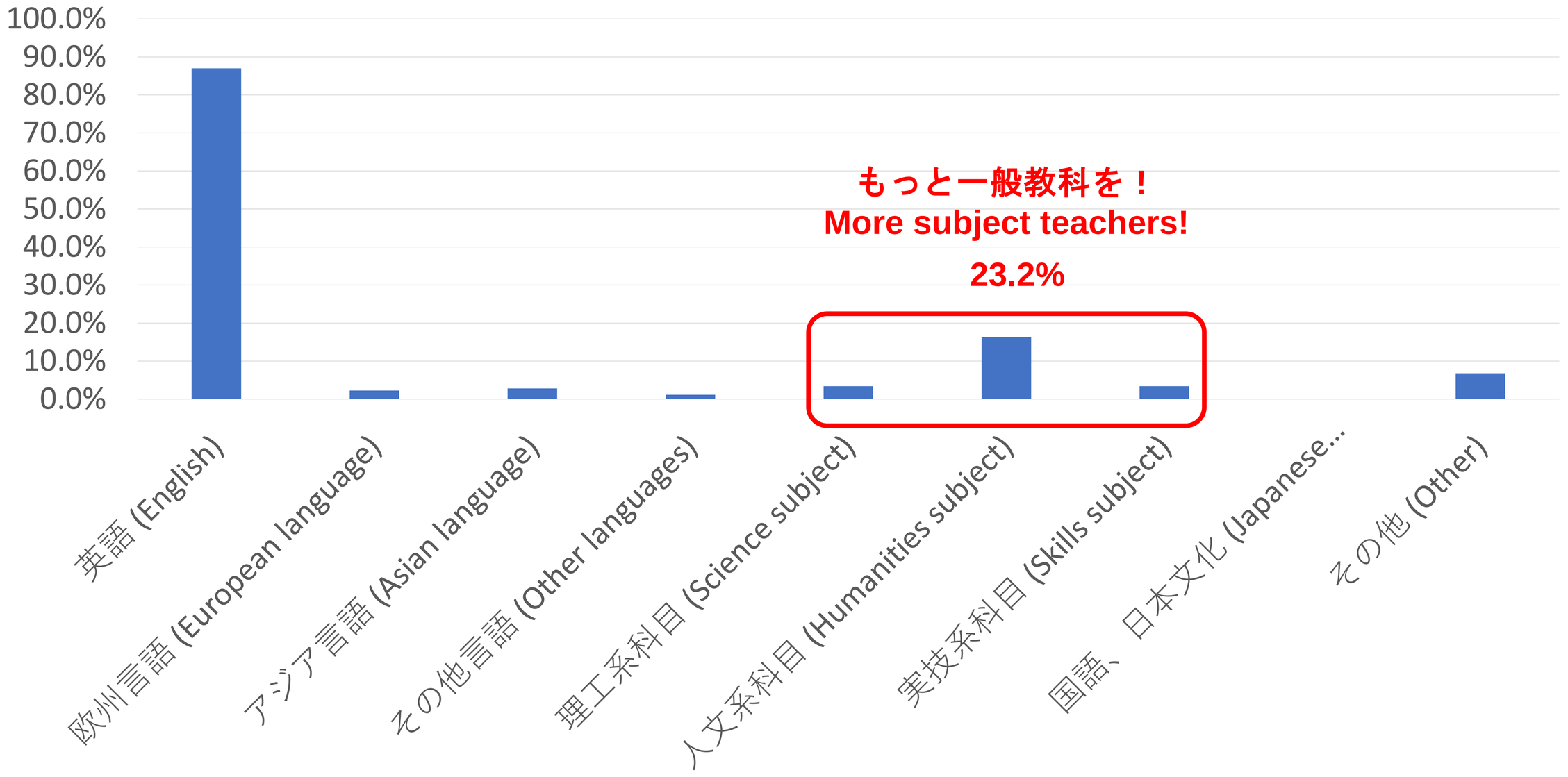
Q3 校種 (What is the type of your school?)



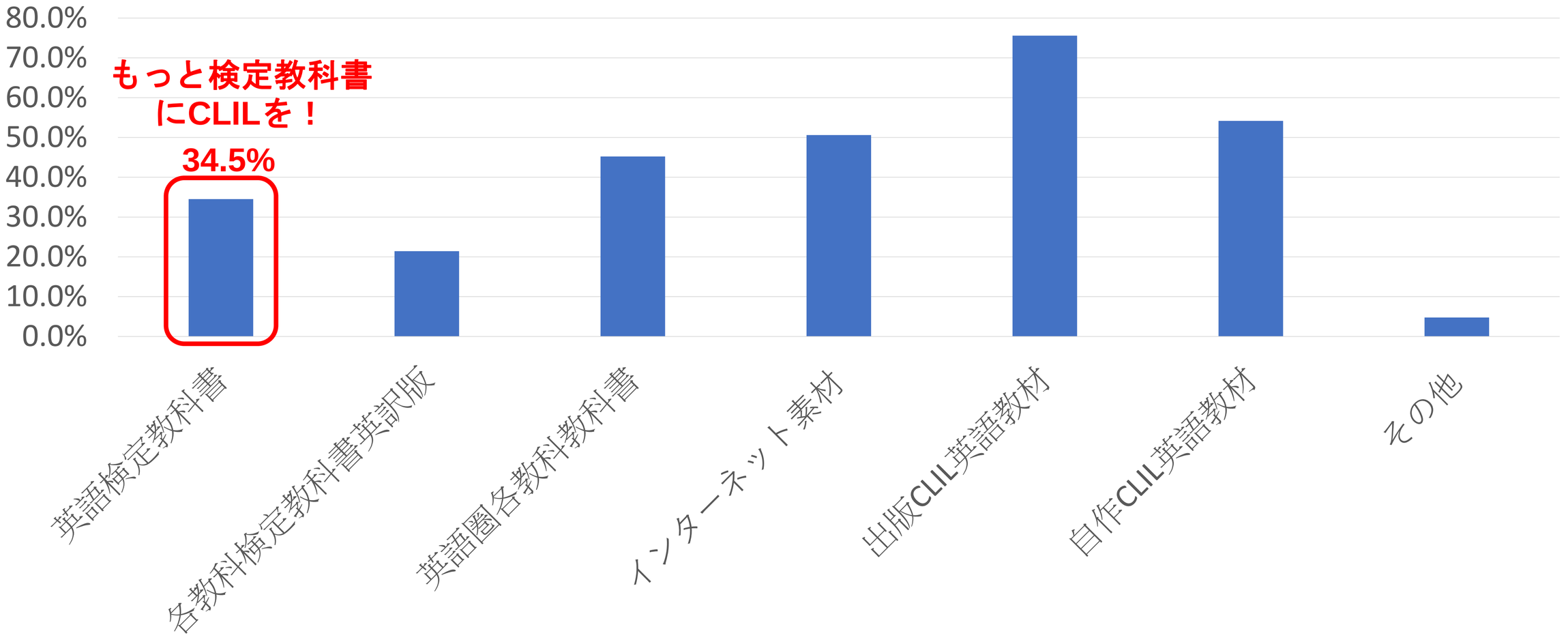
Q7 設置者 (What is the type of your institution?)



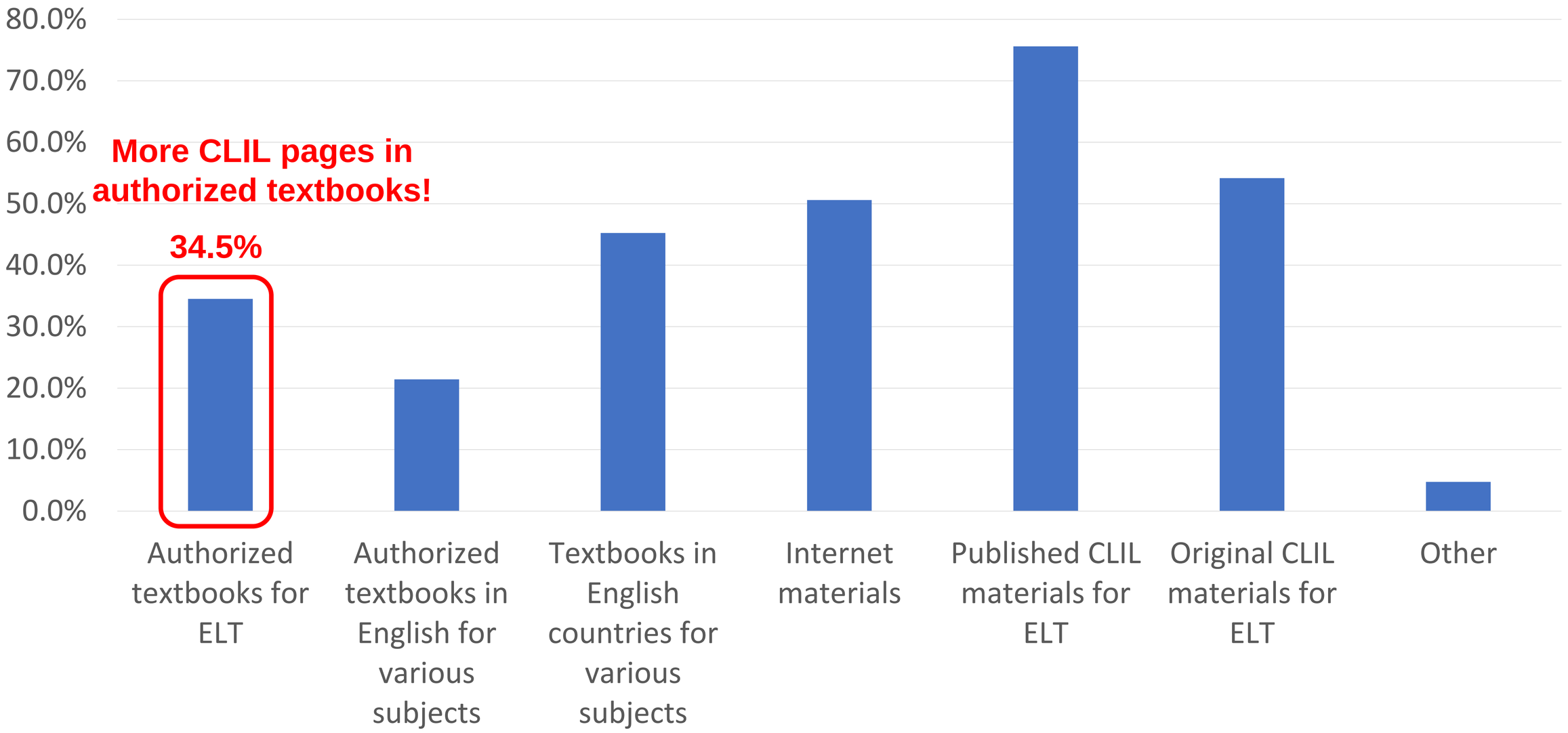
Q10 教科 (Which subject do you teach?)



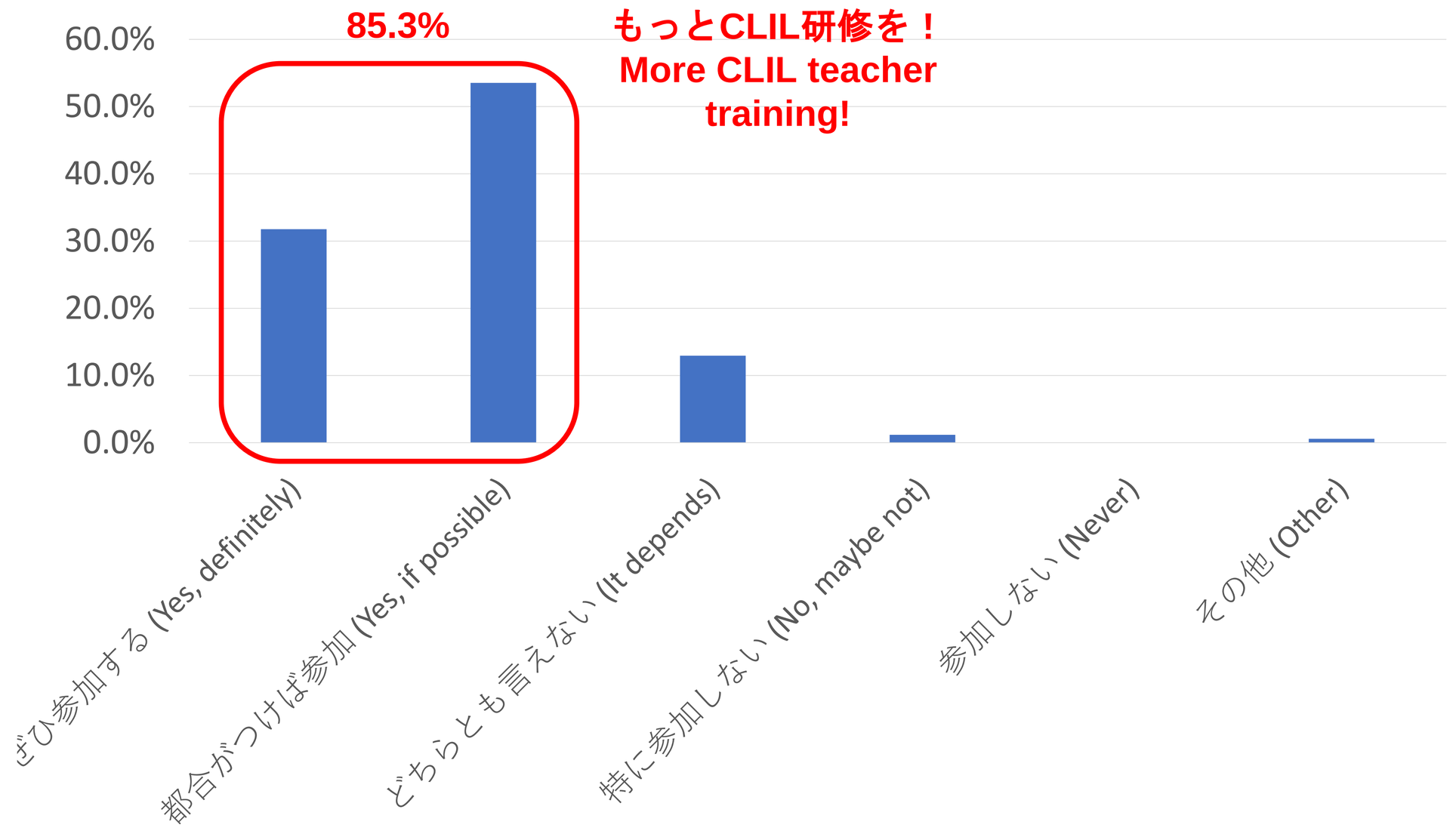
Q35 教材 (Which are appropriate for CLIL materials?)



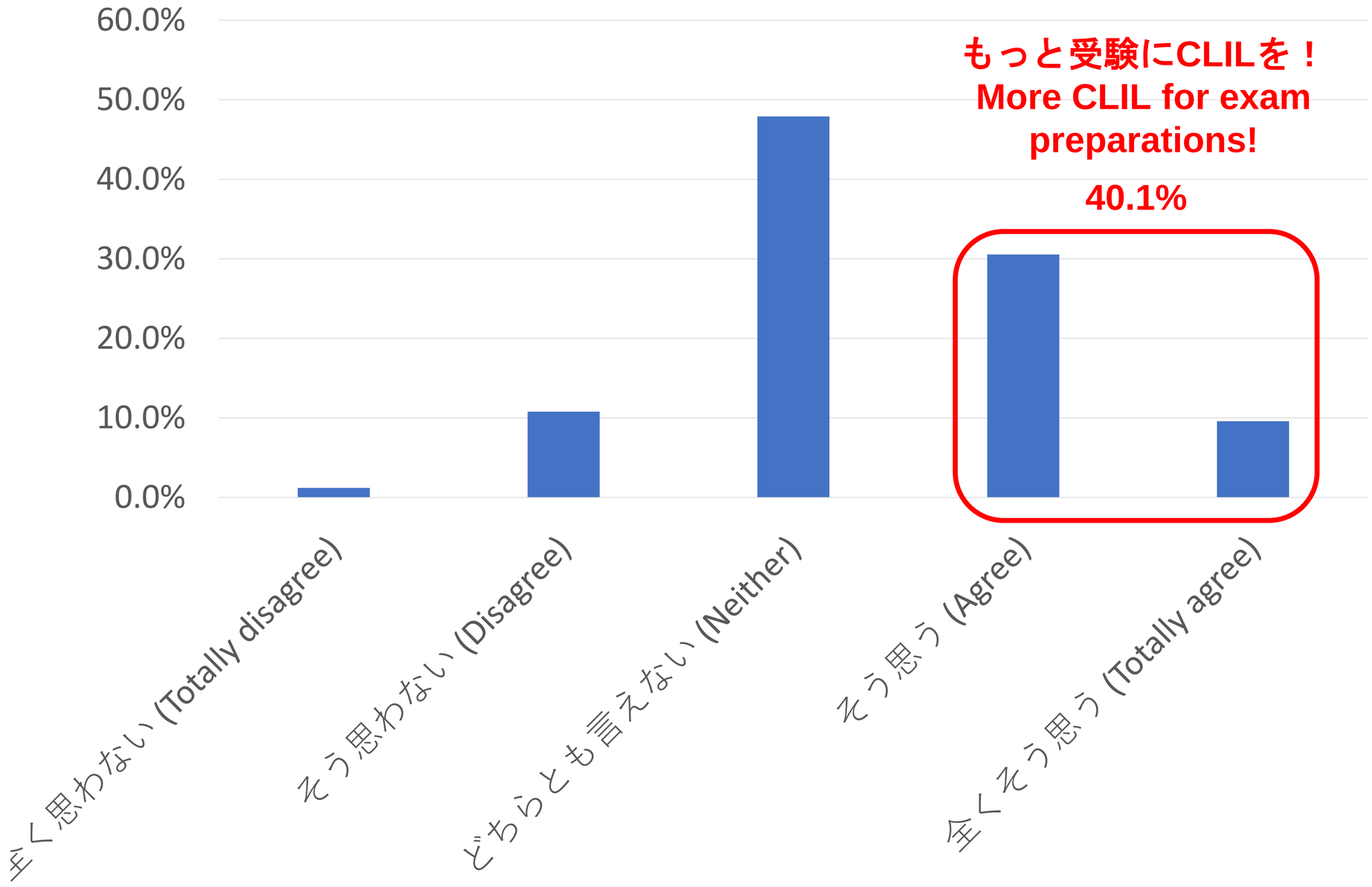
Q35 教材 (Which are appropriate for CLIL materials?)



Q36 研修 (Would you participate in CLIL INSET?)



Q45 受験 (Is CLIL useful for exam preparations?)



CLIL実態調査　高等教育調査報告

分析担当：
仲谷 都（日本大学）
油木田　美由紀（東洋英和女学院大学）
藏本　真衣（鹿児島大学）

本アンケートの調査について

１．各質問別の回答概要

➢各質問毎に回答割合をグラフで表示。特異値があった場合コメント。

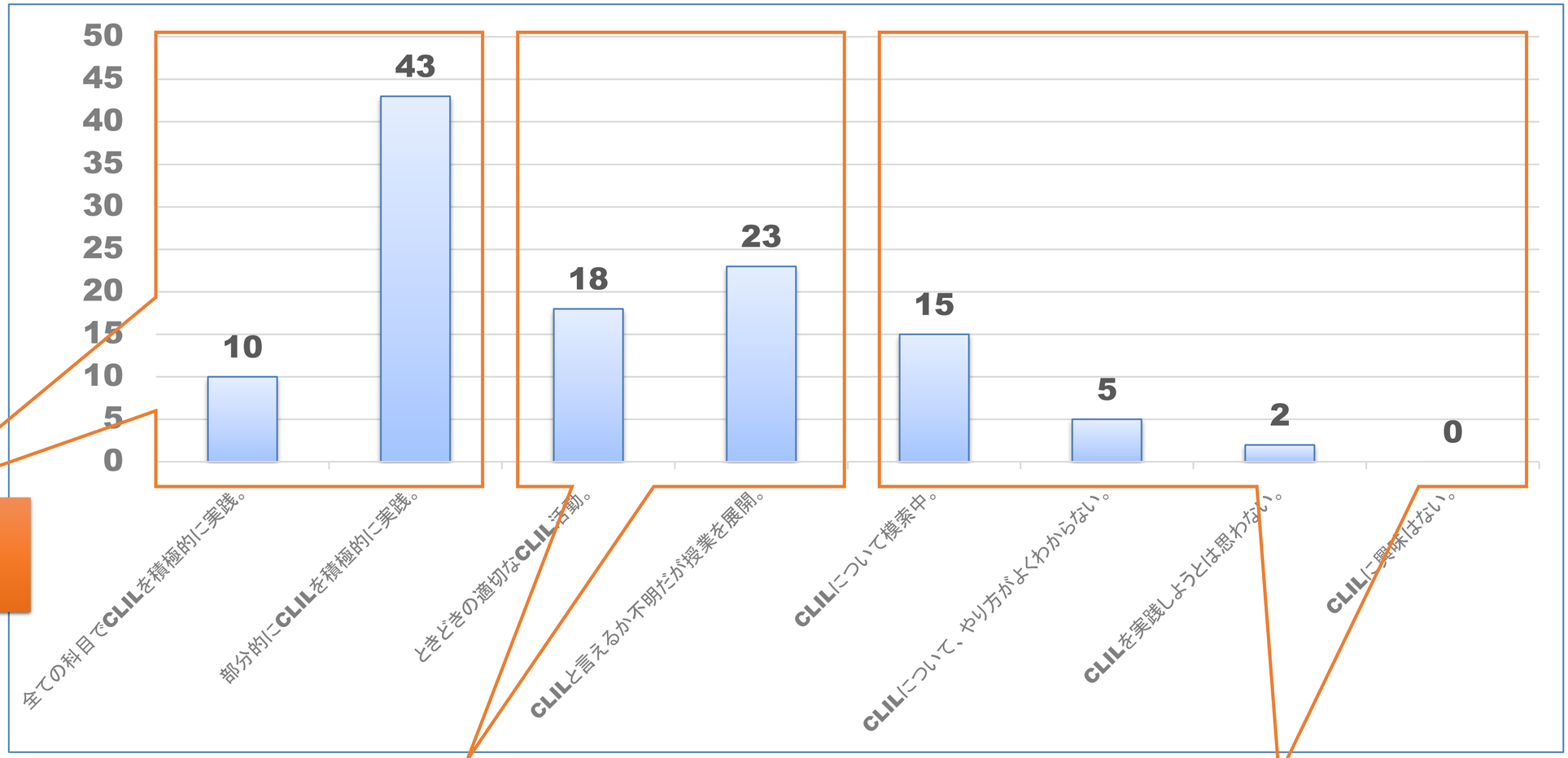
２．特異質問に対するクロス集計

➢Ｑ２（教員歴）／Ｑ８（CLIL実践度）を対象（※①）にクロス集計し
その回答割合をグラフ（※②）で表示。特異値があった場合にコメント

※①回答割合が偏向しておらずかつCLILの習得度合が図れる質問として上記を選択。

※②Q2の教員歴については回答通り「0年～5年」、「6年～10年」、「11年～20年」、「21年～」
の4段階で集計。
Q8の回答については便宜上、積極的にCLILと取り入れている①と②の回答を「積極実践」
しばし取り入れている③と④の回答を「一部実践」、それ以外の回答を「未実践」と表記し集計。

＜参考＞CLIL積極実施・一部実施・未実施の定義について



積極実施

一部実施

未実施

実態調査の回答者について

・回答者数：n＝105
・CEFR：C1レベルの教員が最も多い
・教員歴:中堅・ベテラン層が中心（21年以上が最も多い。）

調査結果のポイント

1. CLILの実践について
   ・積極的にCLIL実践：46%
   　CLILを一部実施　：35%
   　未実施：19%
   ・「(15回中) 毎回」実践が最多
   ・授業時間内の２５%実践が最多：授業の一部に導入が多い。
2. CLILの授業の使用言語について
   ・CLIL授業＝英語80%、日本語20%
   ・教員歴は関係なく、英語を可能な限り使おうとしている。

調査結果のポイント

3. CLIL授業で扱う内容について

・「学生の学ぶ学科」に関連する内容が最も多い

4. CLIL授業への工夫について

・「タスク、素材と情報、思考する機会」などの教員による工夫が多い

・「人材と活動」についての工夫は少ない

調査結果のポイント

5. CLIL授業の評価について

・英語力のパフォーマンスの評価と、理解した内容をレポートを書かせる教員が最も多い

・学習者の自己評価を考慮する教員は少ない

6. CLILに適切な教材について

・CLIL教材として構成された教材が適切とする。

→実際は自前で作成した教材、インターネット素材の利用が多い。

調査結果のポイント

7. CLILの教え手について

・語学教員でも専門教員でも、どちらが教えるとは言えない

・英語+専門科目教員の連携：連携の必要性があるという回答が約7割

「どちらとも言えない」という回答も少なくはない

8. CLILを実践して

・変化：学生に関わる変化の回答が多い

・課題：「学生が要因の課題」＞「教員が要因の課題」

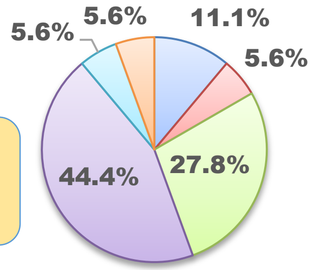
CLILの実践について

・「積極的にCLIL実践46%」「CLILを一部実施 35%」「未実施 19%」
・CLILを積極的に実践している教員：
　→海外で生活したり、教育を受けた経験がある教員
　→CEFRC1,C2レベルの教員※

Q7.あなたの英語能力はCEFRでどの段階に当たると思いますか。

CLIL未実践

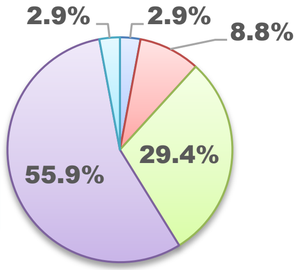
C1,C2: 50.0%



A2 B1 B2 C1 C2 その他

CLIL一部実践

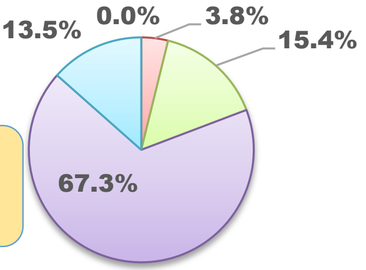
C1,C2: 58.8%



A2 B1 B2 C1 C2

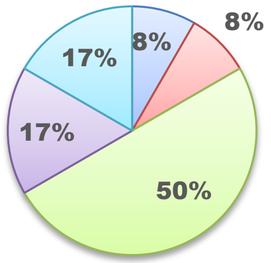
CLIL積極実践

C1,C2: 80.8%



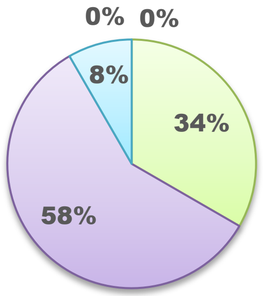
A2 B1 B2 C1 C2

教員歴0～5年



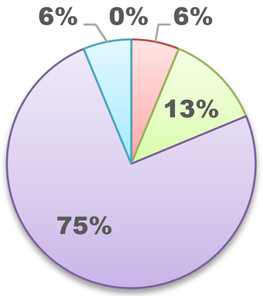
A2 B1 B2 C1 C2

教員歴6年～10年



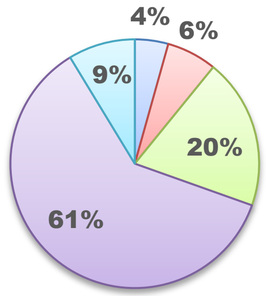
A2 B1 B2 C1 C2

教員歴11年～20年



A2 B1 B2 C1 C2

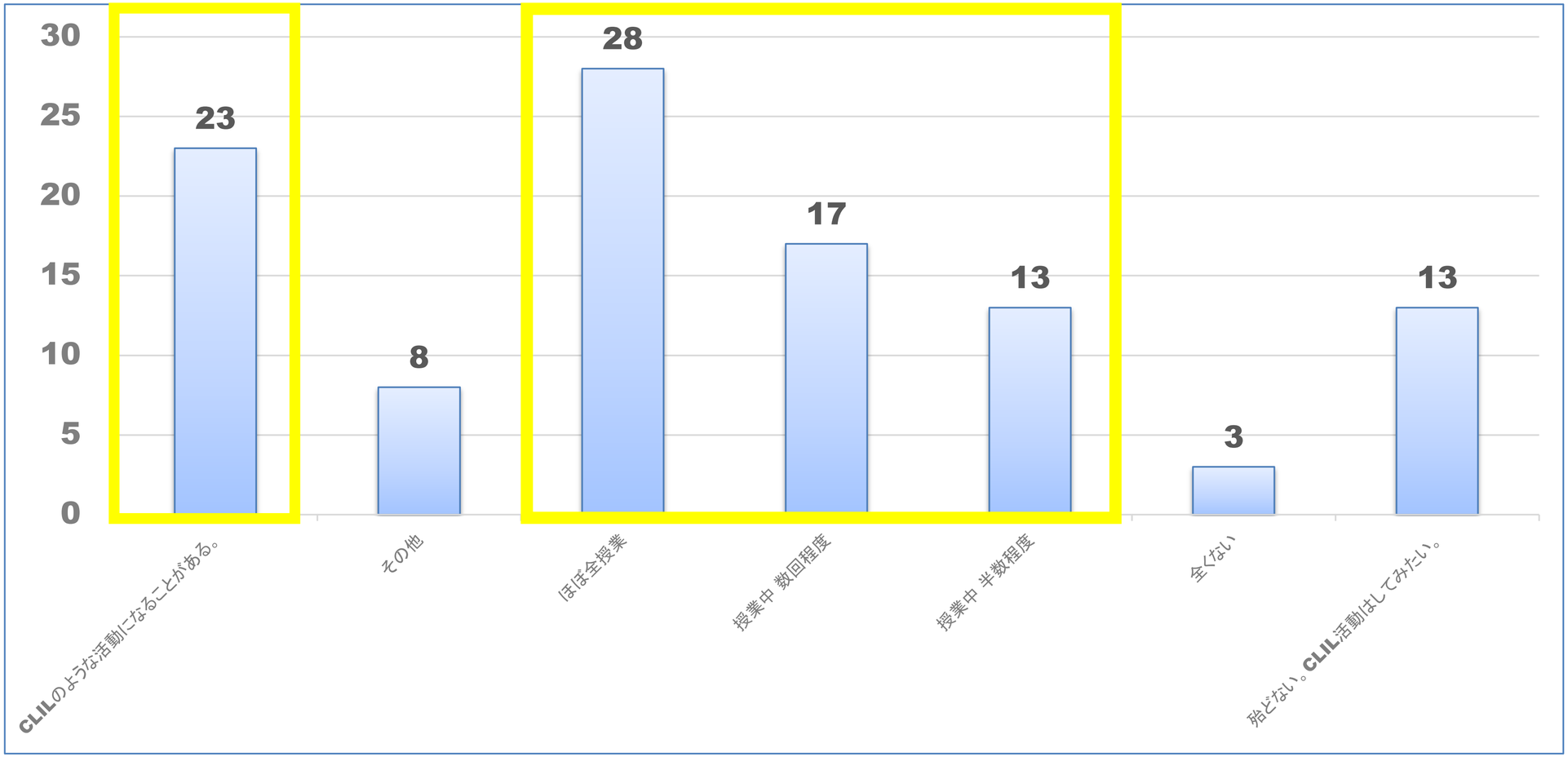
教員歴21年～



A2 B1 B2 C1 C2

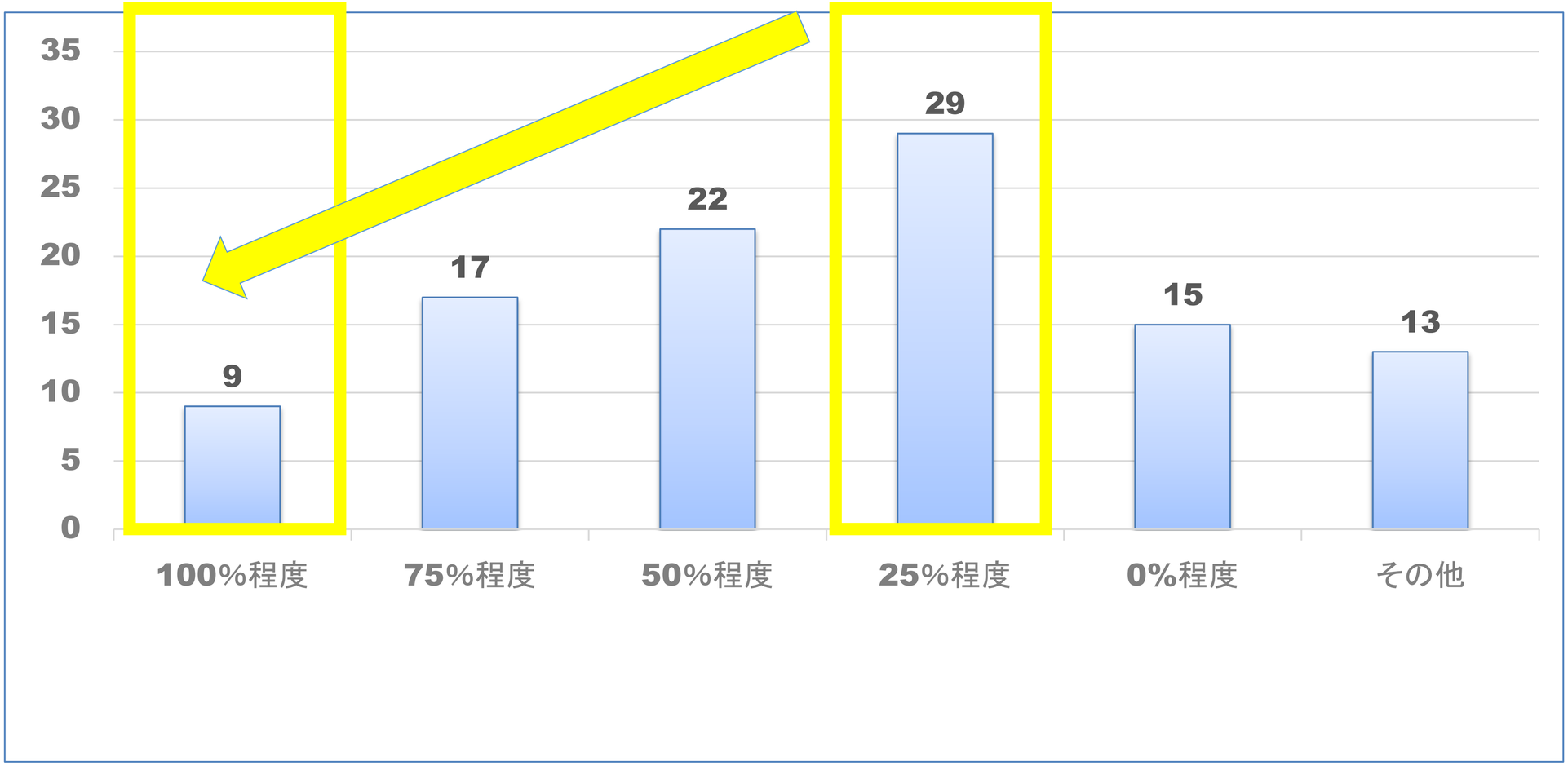
CEFRのレベルの高に比例し、CLIL実践度合も積極的になる傾向。未実践群のC1、C2の割合は、50%。
積極実践群のC1、C2の割合は、80.8%。

Q14.あなたが、CLIL授業やCLIL的な活動を実施している頻度について教えてください。



CLIL実施頻度が「（15回中）ほぼ毎回」、「（15回中）数回程度」、「（15回中）半分程度」の順番で多く実施されている。

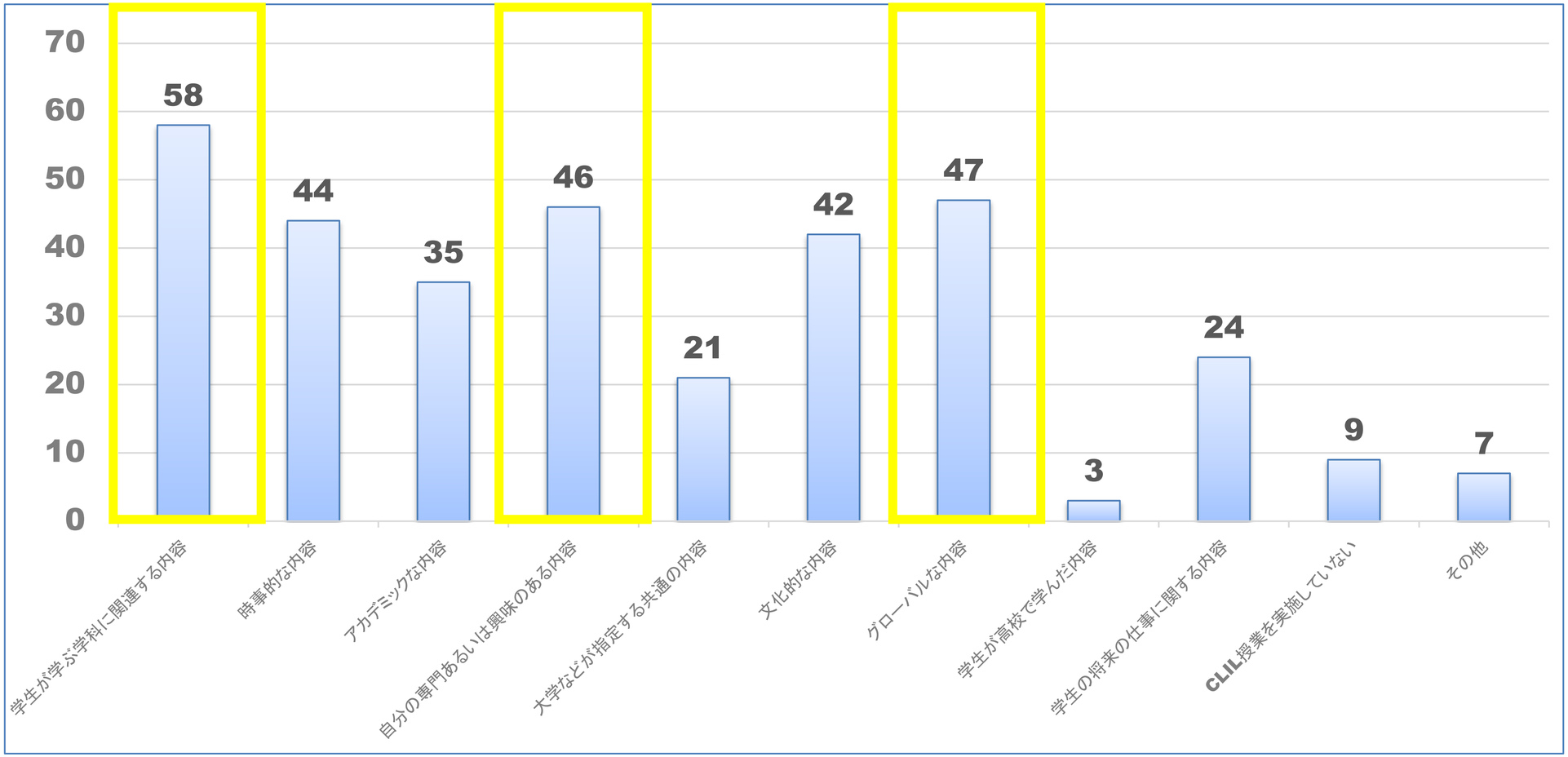
Q15.あなたの授業にどのくらいの割合でCLILを導入しているか教えてください。



授業内でのウエイトは25%が最も多い。”Partial CLIL, 授業の一部（池田、2011）”で実施されている状況が多い。

CLIL授業で扱う内容について

Q18.あなたがCLIL授業で扱う内容を教えてください。



学生の学ぶ学科に関連する内容が最も多い結果となった。

CLIL授業への工夫について

全般

思考力を育成

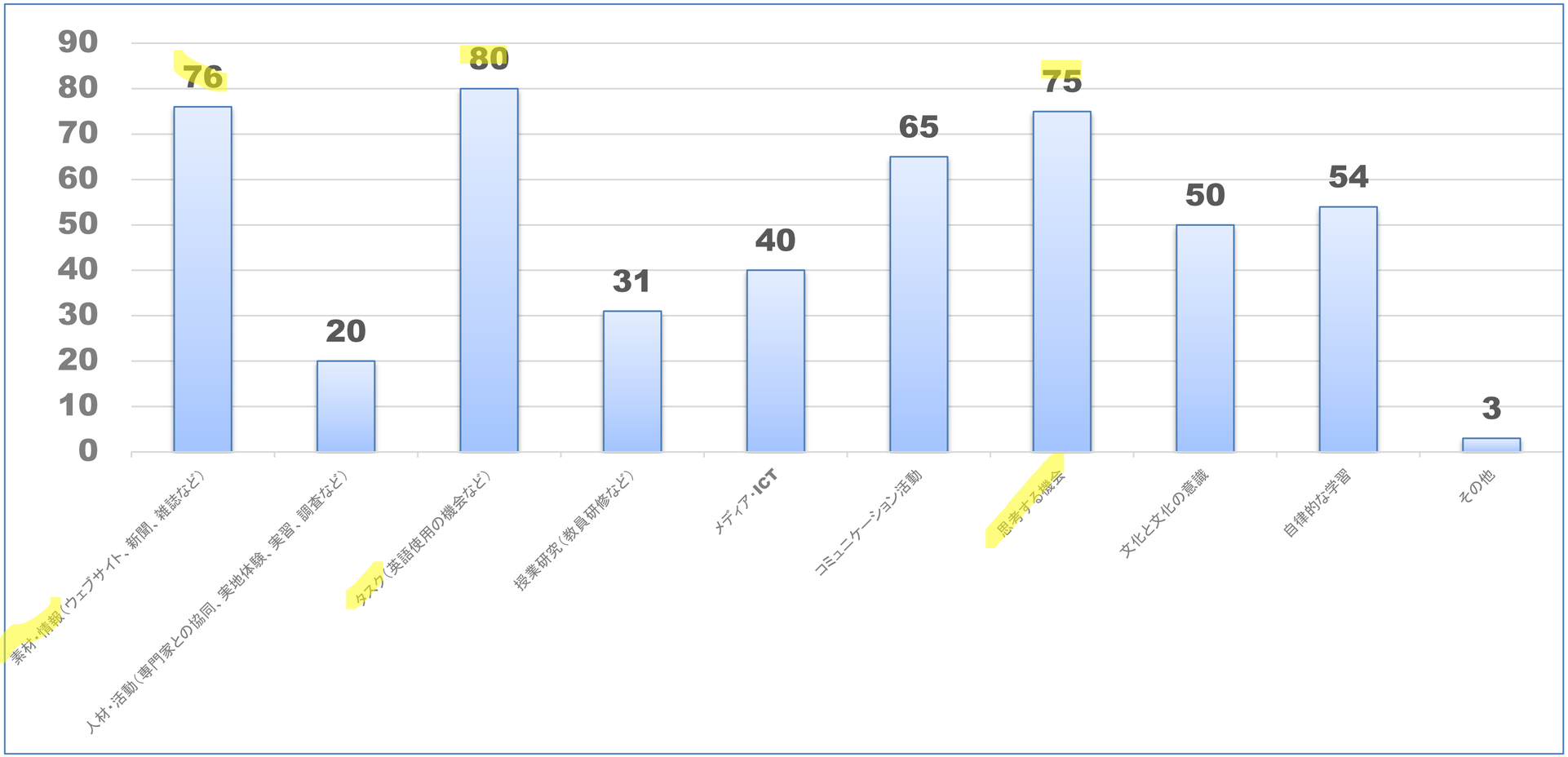
コミュニケーション力を育成

読む力を育成

学習スキルを育成

協学を育成

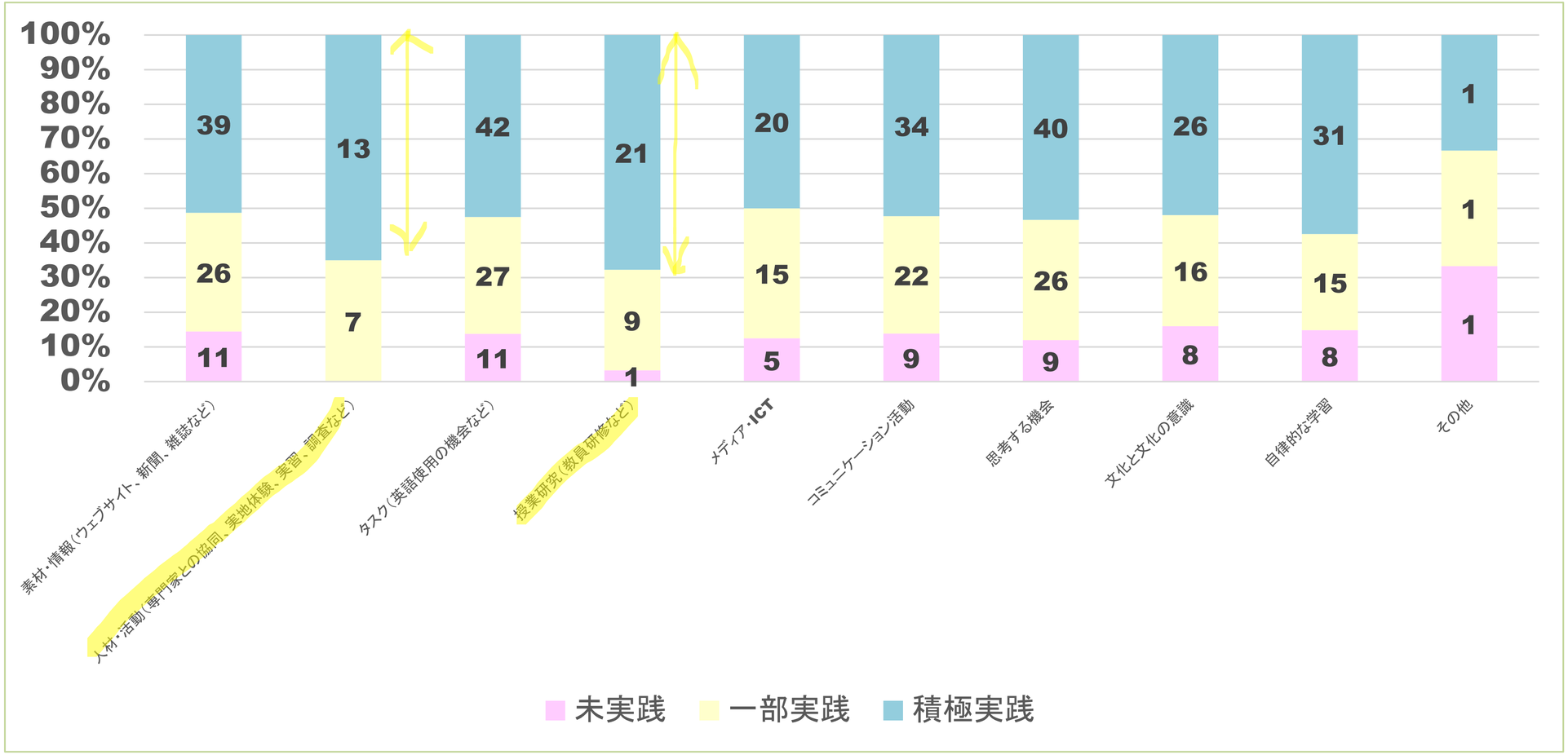
Q21. CLIL授業全般において、あなたはどのような工夫をしていますか、あるいは、しようとしていますか。



タスク、素材と情報、思考する機会などの工夫が多く見られる。人材と活動（専門家との協同、実地体験、実習、調査など）についての工夫は少ない。

Q21. CLIL授業全般において、あなたはどのような工夫をしていますか、あるいは、しようとしていますか。

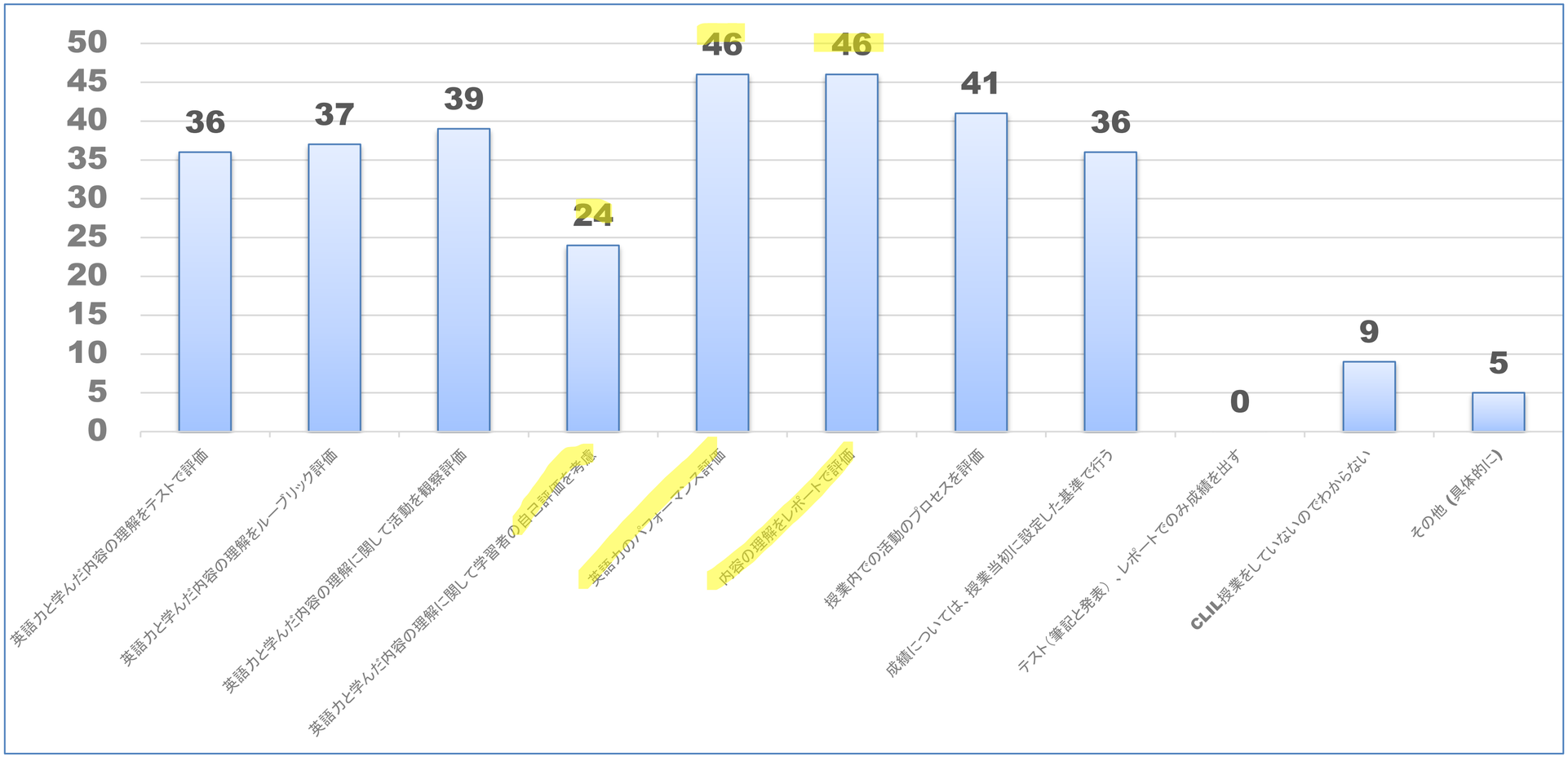
CLIL
実践度別



CLIL積極実施群においては、授業研究（教員研修など）と、人材・活動（専門家との協同、実地体験、実習、調査など）への工夫が多く見受けられる。

CLIL授業の評価について

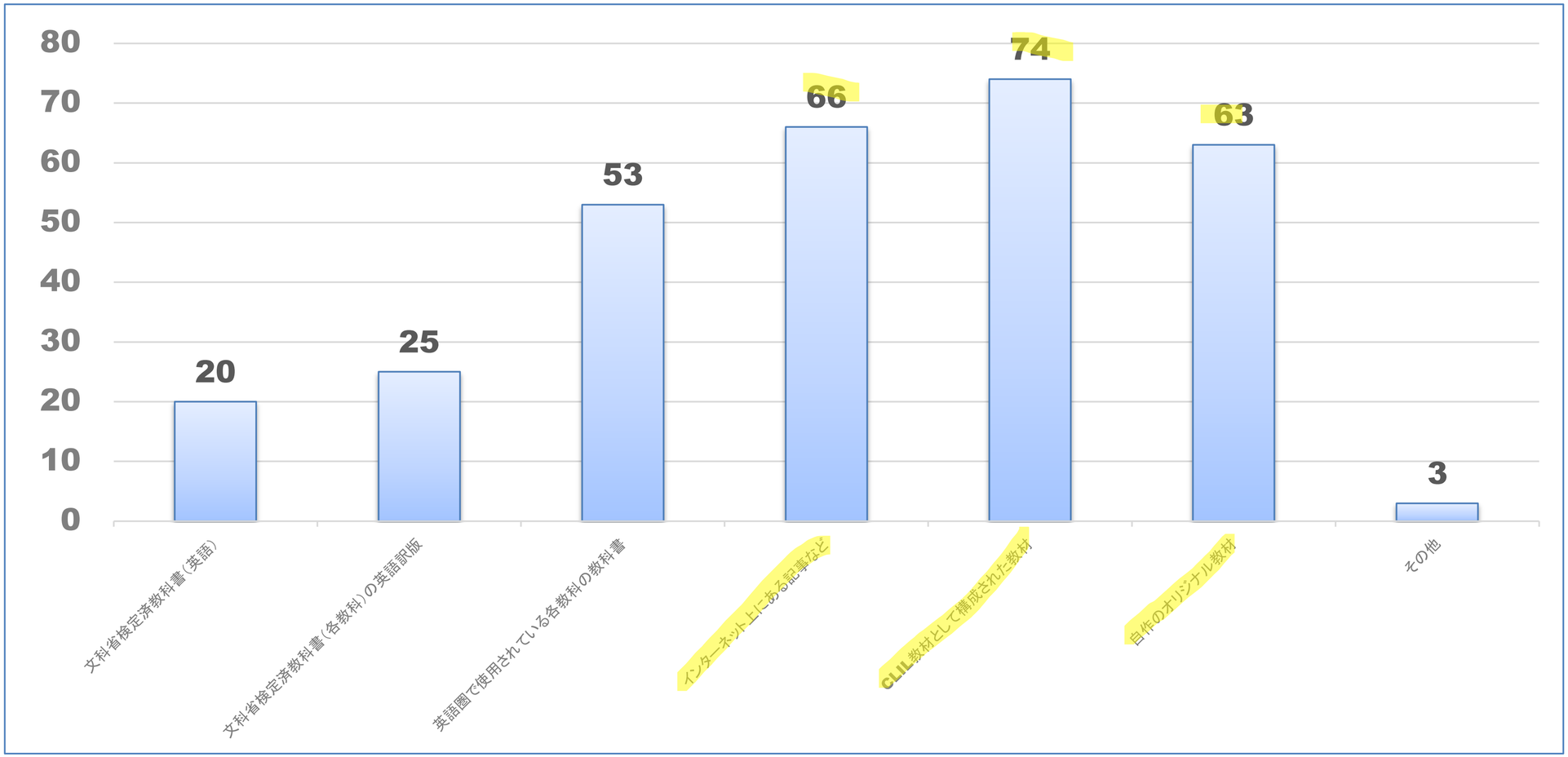
Q29.あなたは、CLIL授業の評価をどのようにしていますか。



英語力のパフォーマンス及びレポートの評価が多い結果となった。

CLILに適切な教材について

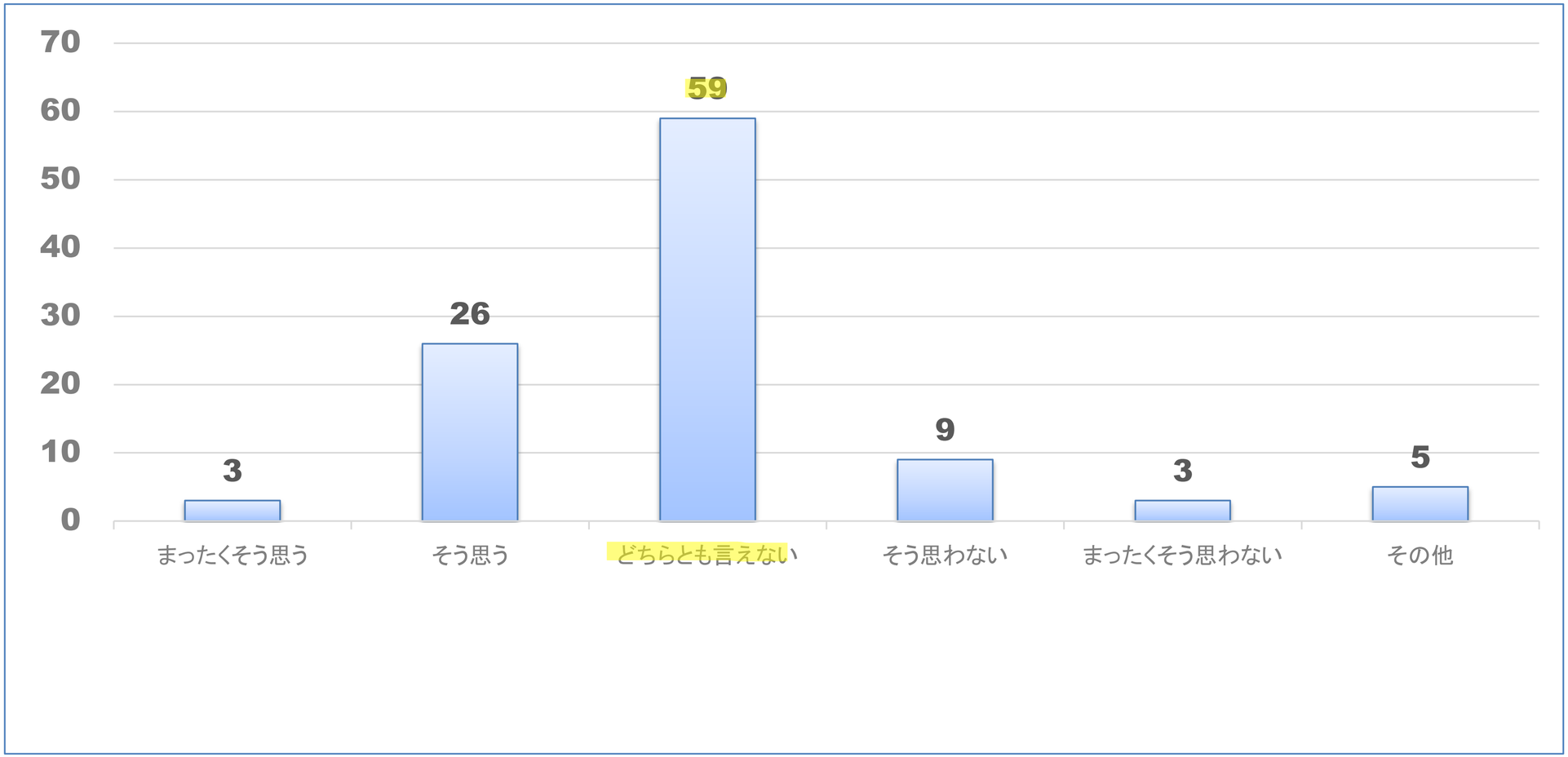
Q39.あなたは、CLILの教材として次のどれがよいと思いますか。



CLIL教材として構成された教材が良いという回答が多いものの、ネットや自作も多い。

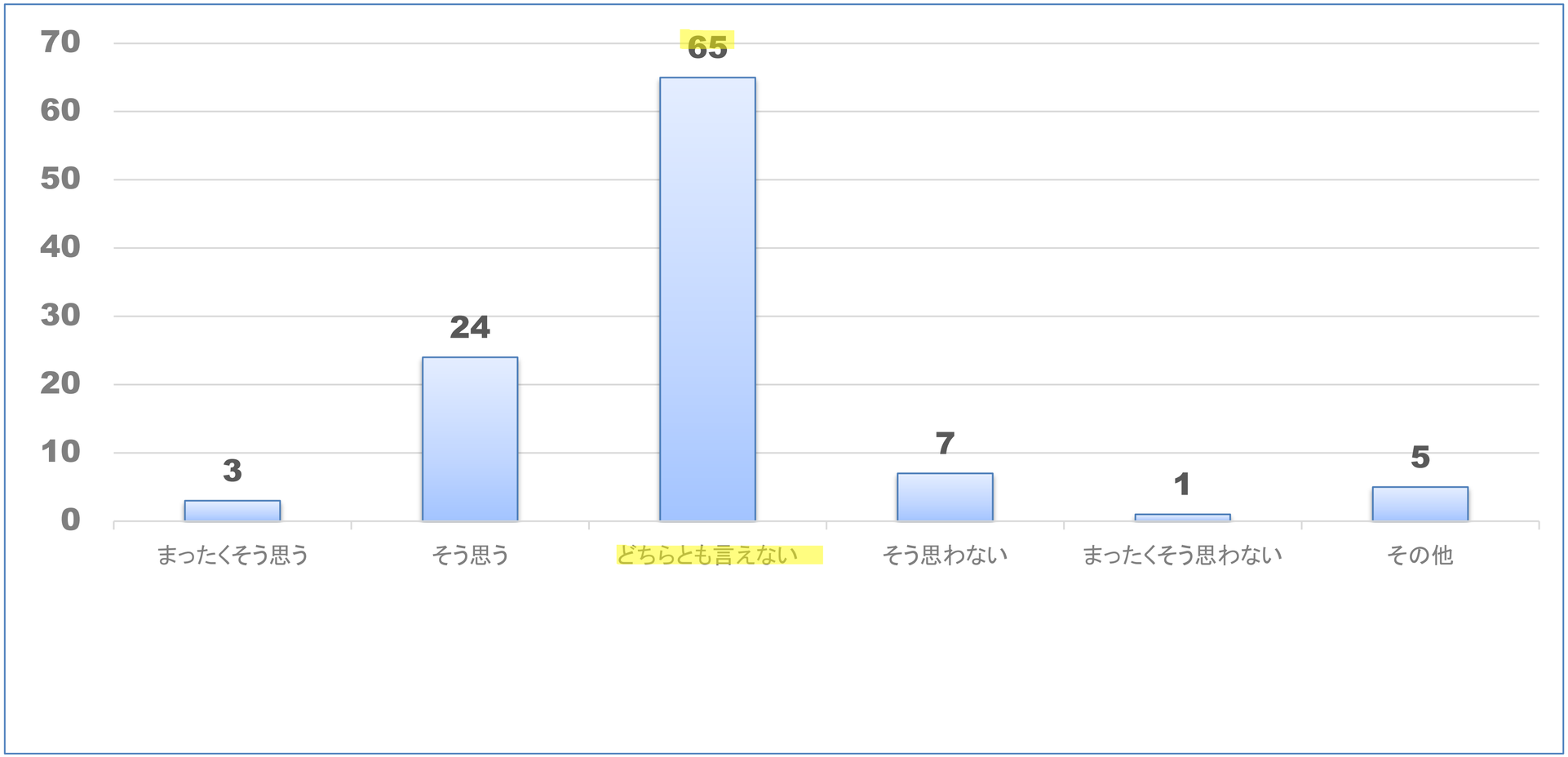
CLILの教え手について

Q42.大学等の高等教育では、CLILは英語の教員が教える。



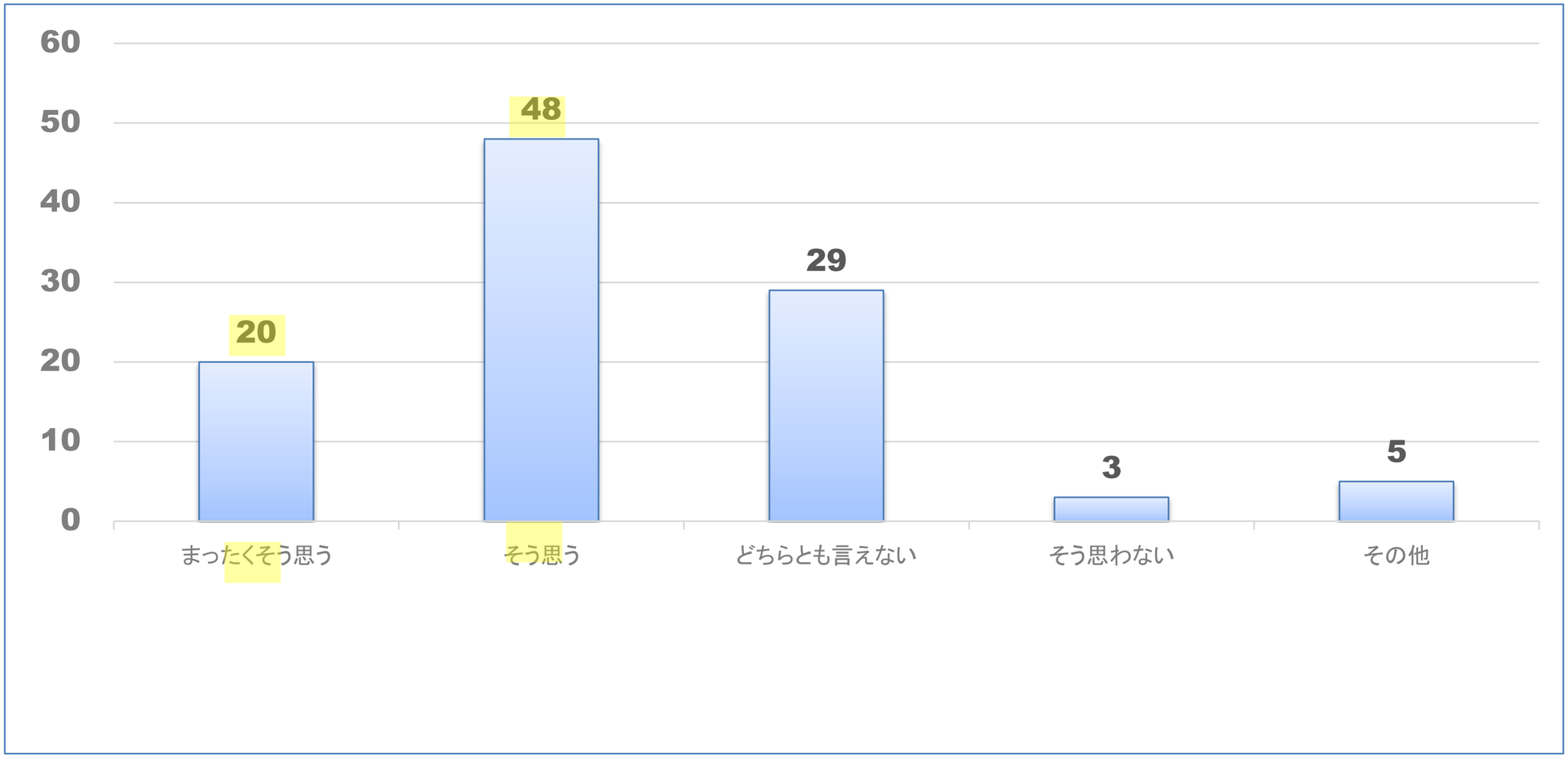
どちらとも言えないという回答が最も多い結論になった。

Q43.大学等の高等教育では、CLILは専門科目の教員が教える。



前質問よりも更に「どちらとも言えない」の回答が多い結論となった。

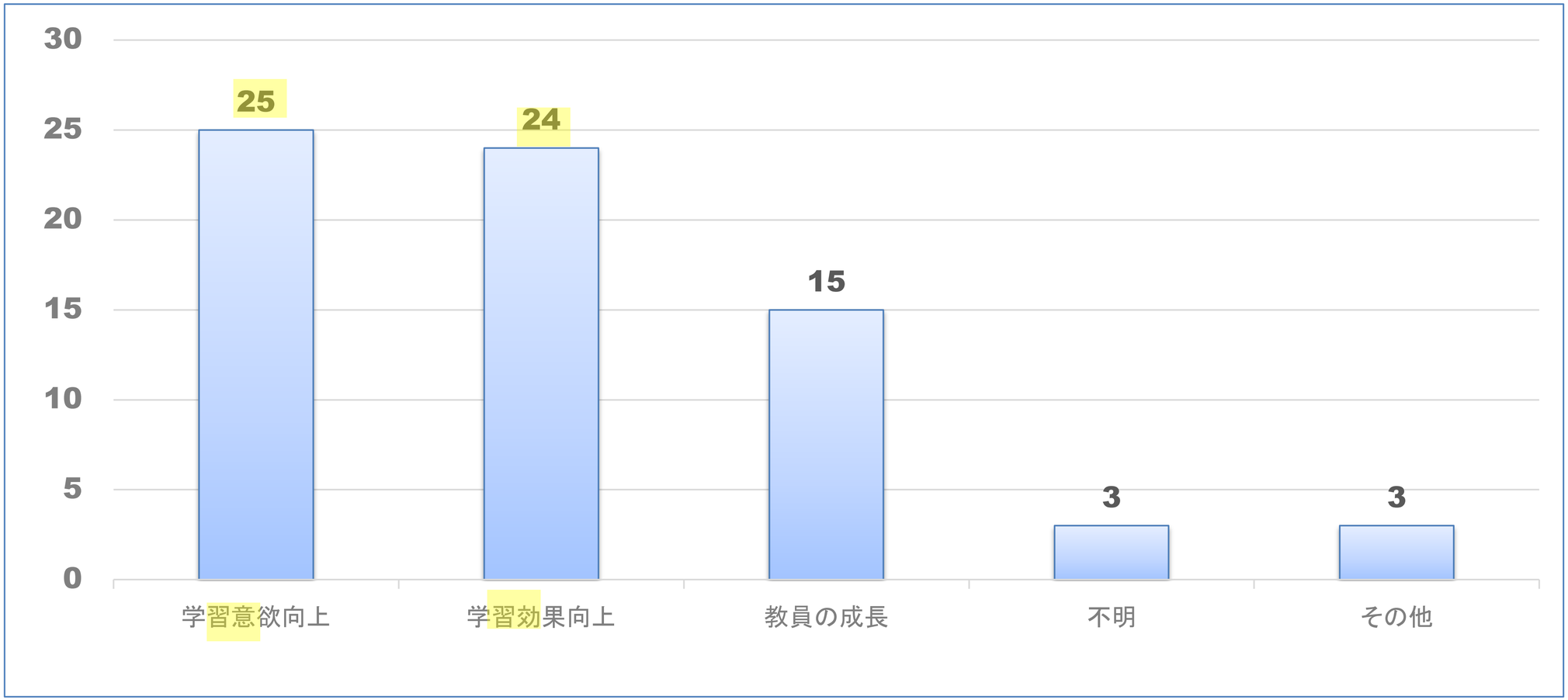
Q46.大学等の高等教育では、CLILは、英語と各専門科目の教員が連携して指導する必要がある。



「全くそう思う」と「そう思う」の回答が約7割と高い割合占める結果となった。ただし、「どちらとも言えない」という回答も少なくはない。

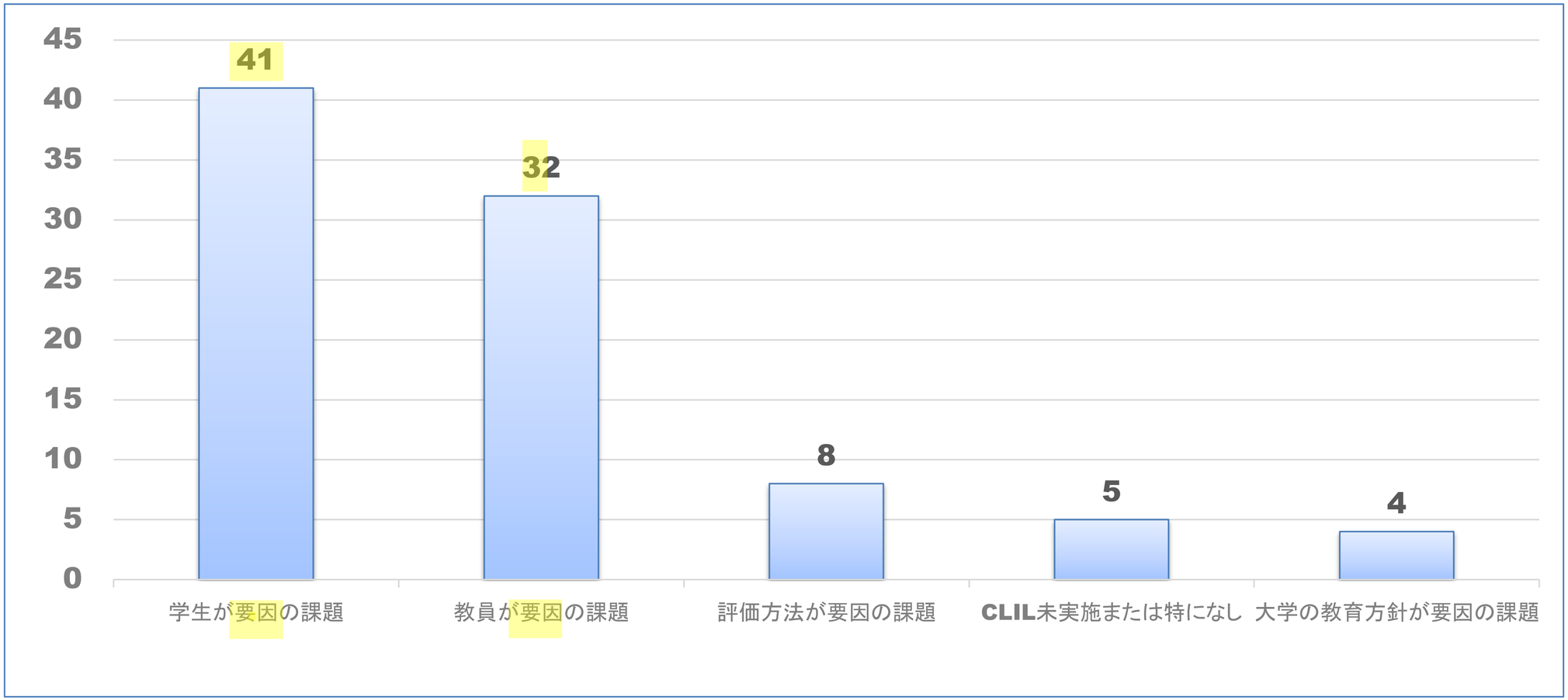
CLILを実践して
変化
課題

Q47.CLIL実践を通じて、あなた自身や同僚・学生などの変化について感じたことがあれば教えてください。（例：学習活動の活性化など）



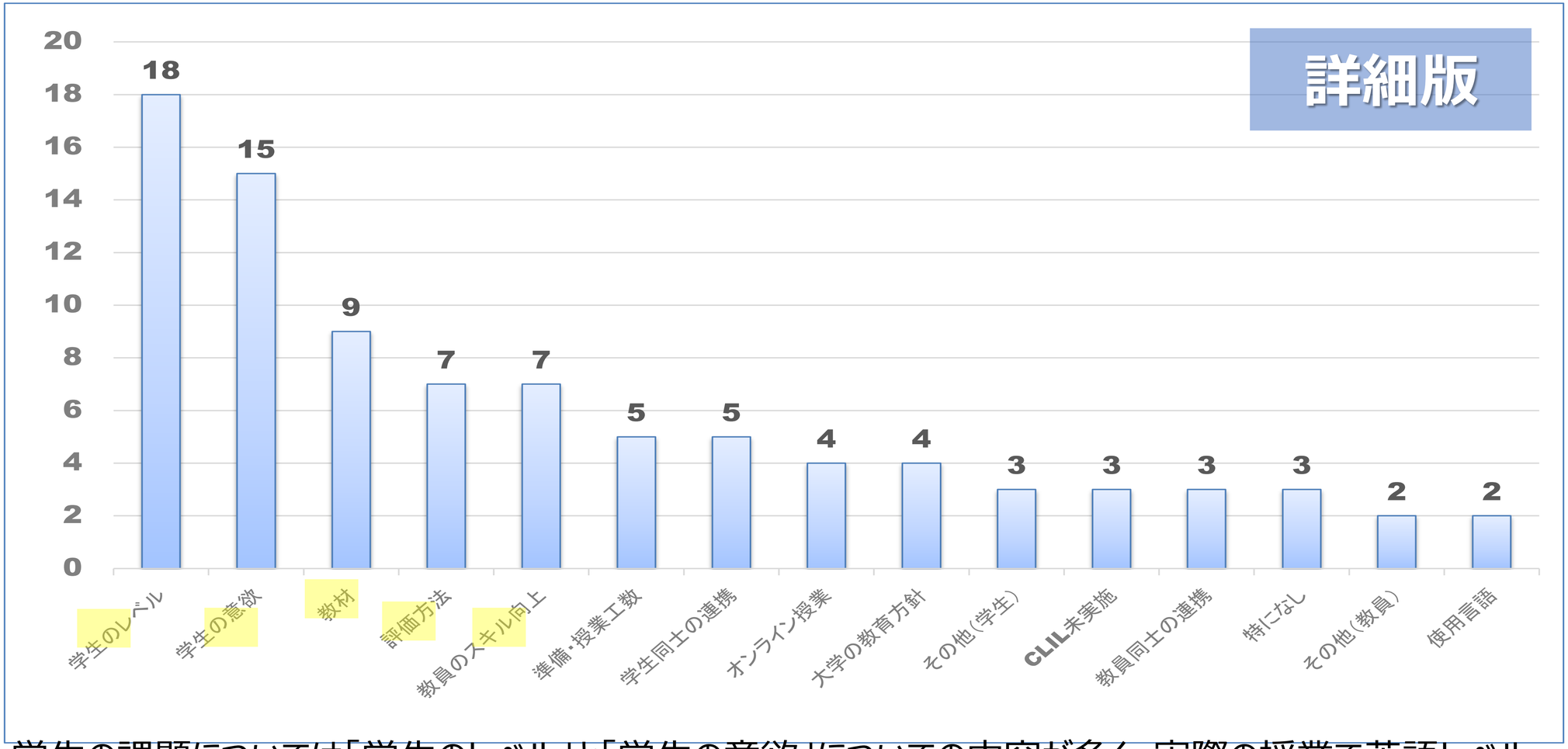
「学習意欲向上」や「学習効果向上」といった「学生」に関しての回答が多くを占める結果となった。CLILが様々な面で学生の成長や授業の効果向上に寄与していることが推察される。

Q49.CLIL実践も含めて、あなたの授業の現状の課題は何ですか。（例：学生の学習意欲など）



大局的にみると「学生が要因の課題」と「教員が要因の課題」とに二分する結果となり、割合的には「学生が要因の課題」が多い結果となった。

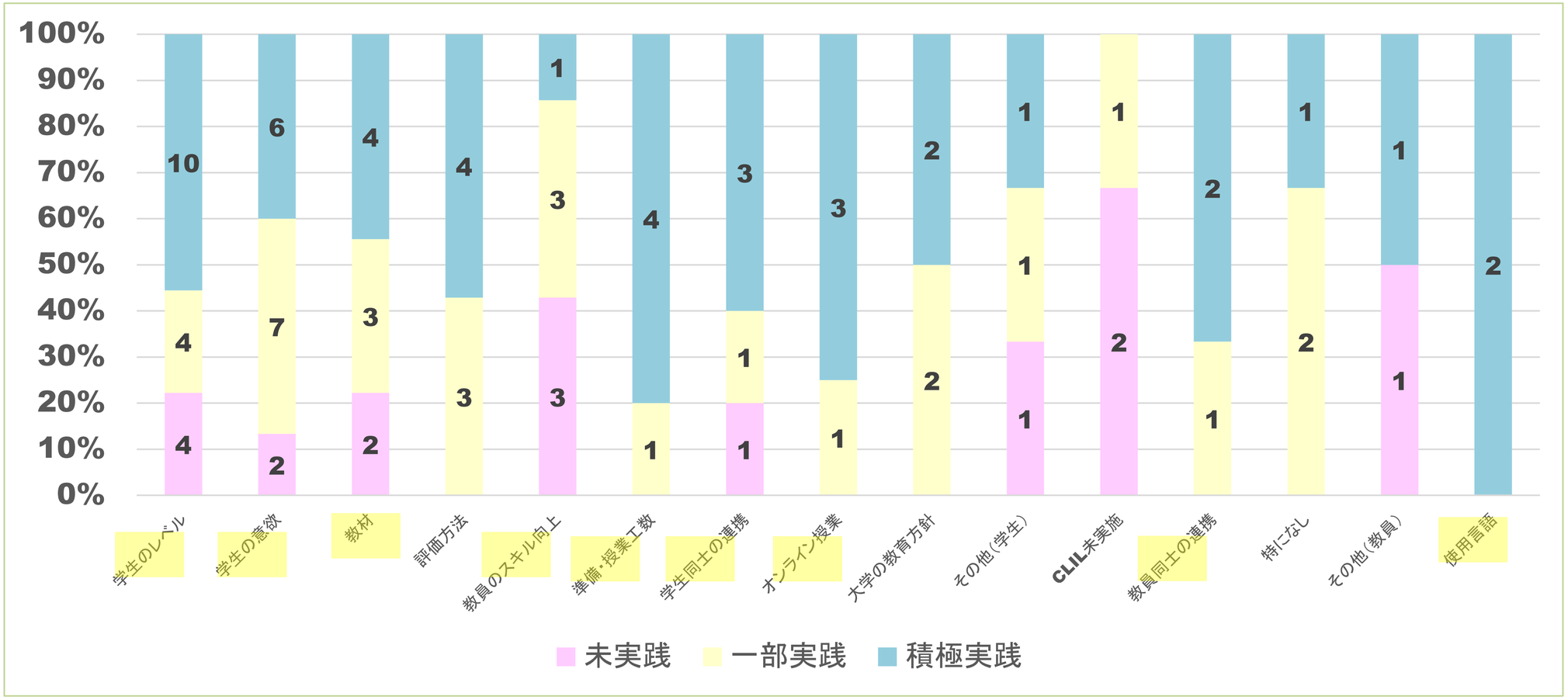
Q49.CLIL実践も含めて、あなたの授業の現状の課題は何ですか。（例：学生の学習意欲など）



学生の課題については「学生のレベル」と「学生の意欲」についての内容が多く、実際の授業で英語レベルの低い学生がいる場合にCLIL授業の実施が困難だというコメントが多くみられた。
教員の課題については、「教材」、「評価方法」、「自己のスキル」等、CLIL実践に対する現実的な課題が散見された。

Q49.CLIL実践も含めて、あなたの授業の現状の課題は何ですか。（例：学生の学習意欲など）

CLIL
実践度別



実践度別にみた場合も、全体的に「学生のレベル」、「学生の意欲」といった項目の回答が多いが、より細かくみると積極実践群については、「準備・授業工数」、「学生同士の連携」、「オンライン授業」等現実的なCLIL授業の実施に際しての課題が多くを占めた。他方で、一部実践・未実践群については、「学生の意欲」、「教材」、「教員のスキル向上」などCLIL授業実施前の準備・段取り等の課題が多く、授業の具体的手法、授業の実施への不安要素を持つ者が多いと推察される。

CLILを浸透させるためには？

1. 教員自身がCLILの活動ができているか明確ではない。
→最低限のCLILの要素を確認できるチェックリストを作成する

2. 教員歴、CLIL実践歴の浅い教員がCLIL授業実施前の準備・段取り等の課題が多い。
→CLIL実践歴の長い教員及び積極実施群の教員との情報交換、ワークショップ、研修が必要である

3. CLIL教材として構成された教材が良いと考える教員が多い一方で、実際使っている教材は自作が多く、市販の教科書の利用は少ない。
→ニーズに合った教材開発が必要である

参考文献

池田真（2011）「CLILの基本原理」渡部良典、池田真、和泉伸一（編）『CLIL(内容言語統合型学習 ）：上智大学外国語教育の新たなる挑戦 第１巻： 原理と方法』（pp.1-13）東京：上智大学出版

笹島茂(2020)「教育としての*CLIL*」東京: 三修社

CLIL実態調査報告２：高等教育調査報告
Zoom room 1（13:00-13:45)

13:00～13:20 実態調査報　（前半）

13:25～13:35　実態調査報告（後半）

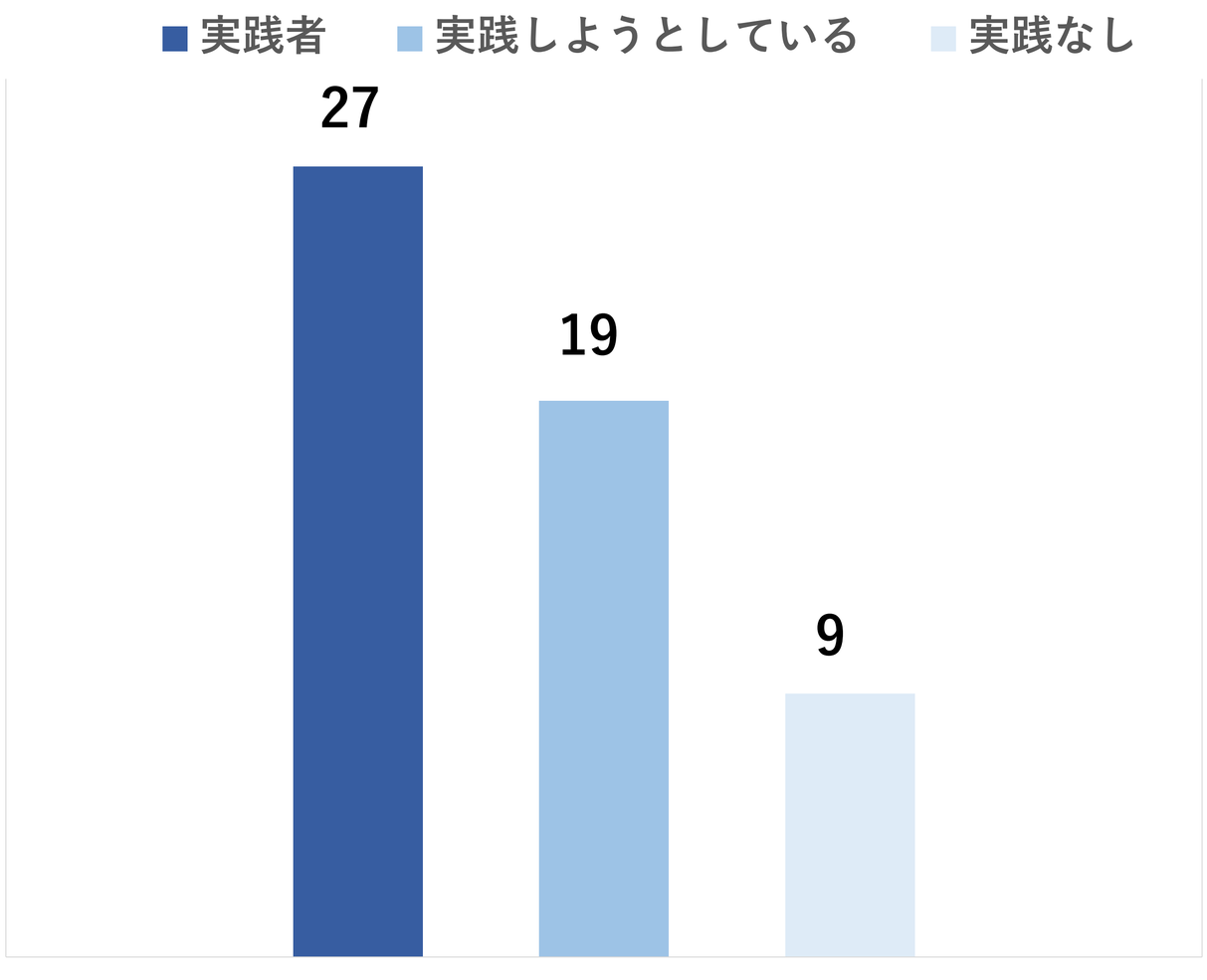
13:35～13:45　意見交換タイム:笹島先生とQ＆A

CLIL初等中等教育調査報告

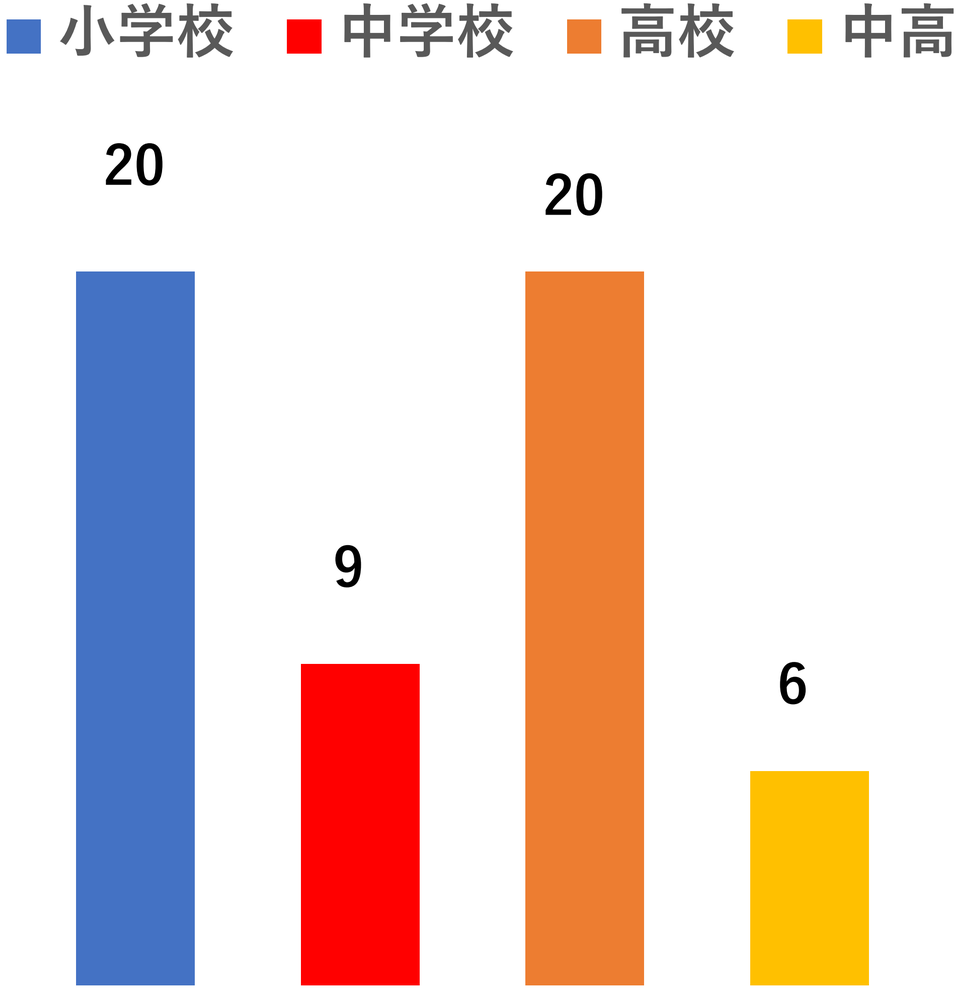
担当：
鯉渕健太郎 （横浜女学院中学校高等学校）
高木由香里（神奈川県立鶴見総合高等学校）
髙田真紀（玉川学園 高等部）
＊笹島茂（東洋英和女学院大学）（サポート）

回答者の内訳　（ｎ＝５５）

実践者27名　/ 非実践者 28名



小学校20名　/　中高35名



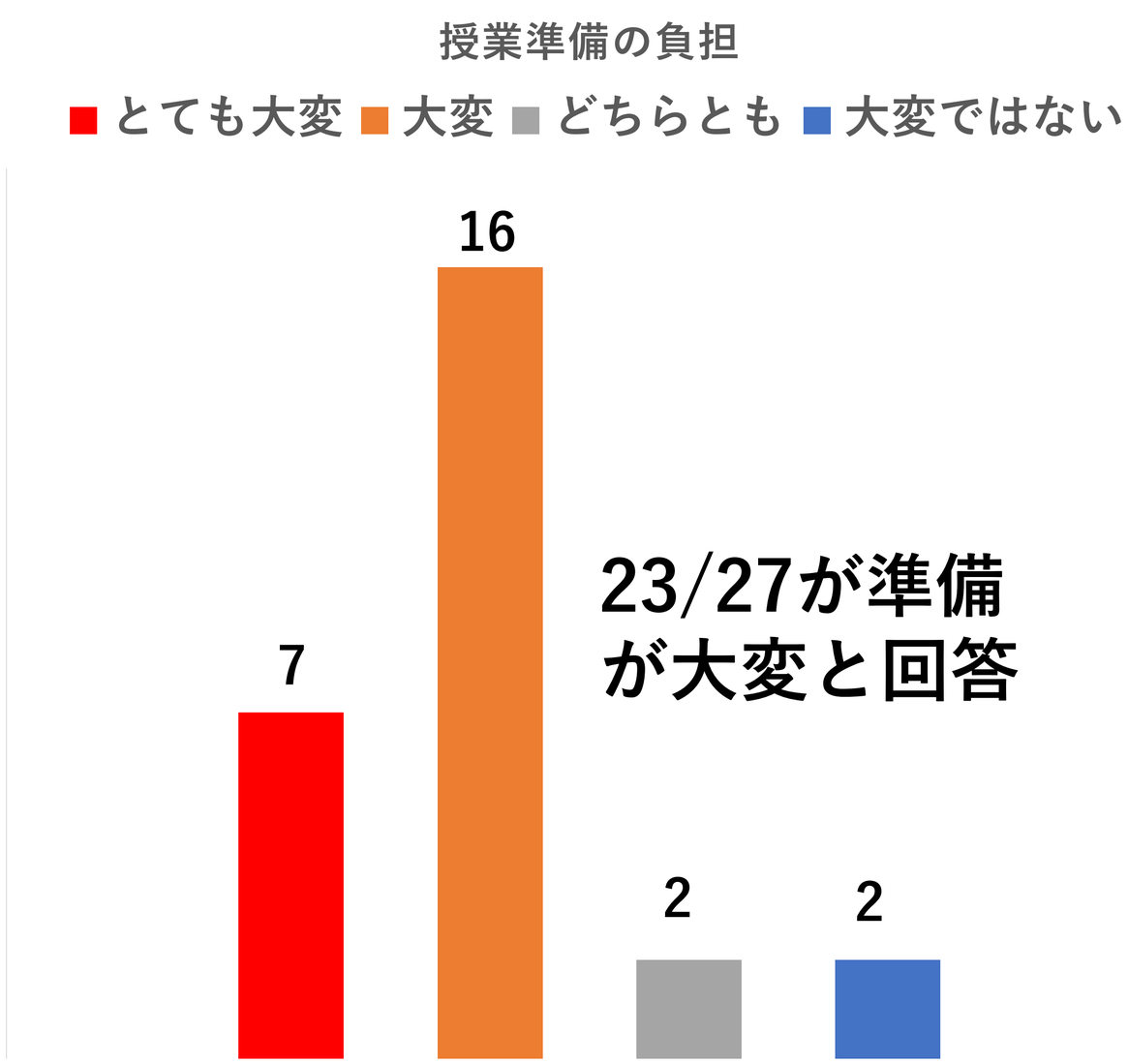
CLIL実践に関する初等中等教育の傾向：効果、楽しさ

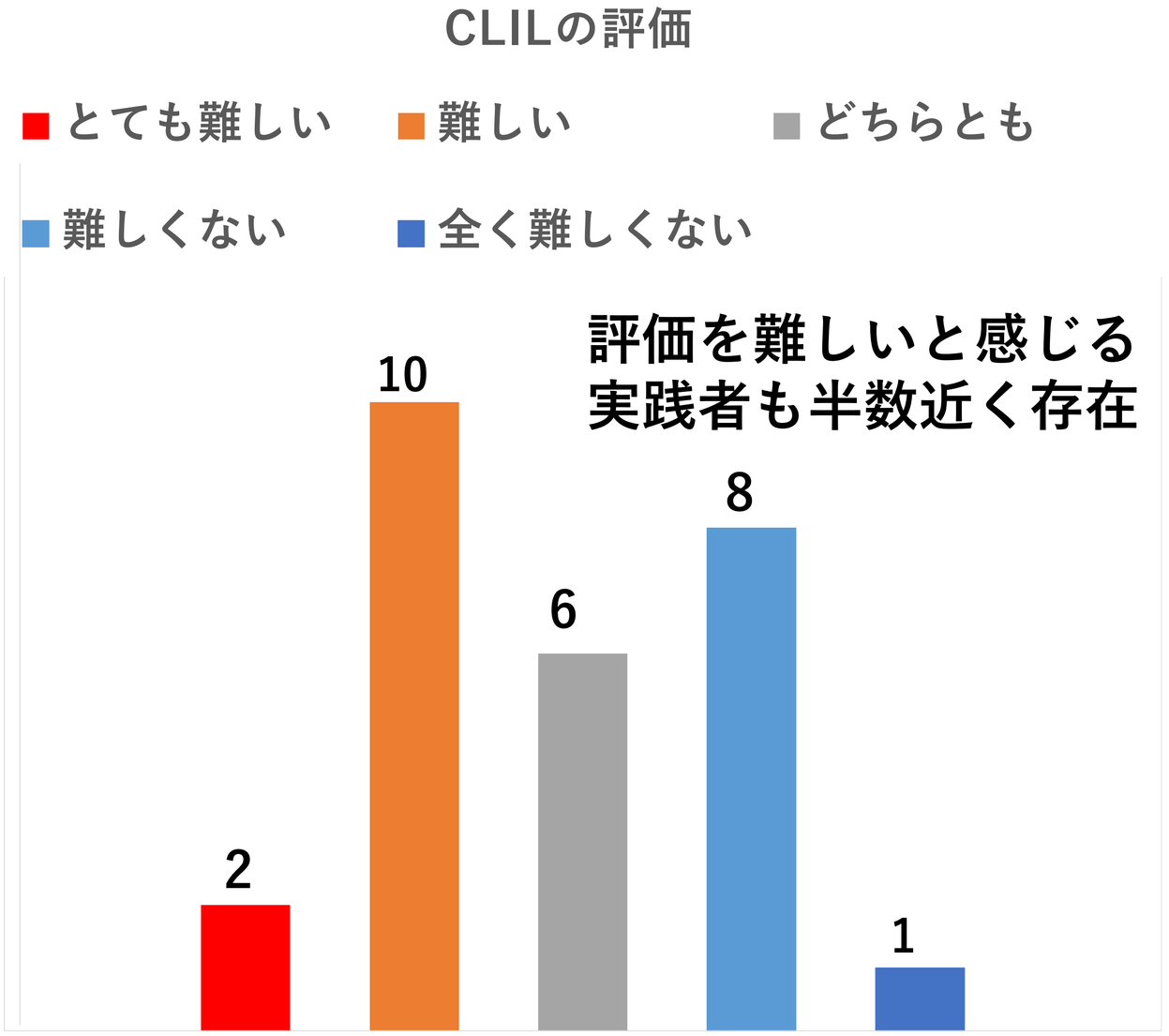
		効果					
			効果大	効果あり	どちらとも	教えていない	計
CLIL実践	実践している	0	18	8	1	0	27
	実践しようとしている	0	3	7	3	7	20

		楽しい					
			とても楽しい	楽しい	どちらとも	教えていない	計
CLIL実践	実践している	0	20	7	0	0	27
	実践しようとしている	0	8	4	1	7	20
	実践していない	1	0	0	0	7	8
	計	1	28	11	1	14	55

実践者が感じるCLILの効果は大きく、実践者自身も楽しんでいる人が多い
非実践者もある程度CLILの効果は感じていることがうかがえる

CLIL実践に関する初等中等教育の傾向：授業準備、評価





CLIL実践に関する初等中等教育の傾向：受験指導、理論と実践について

		受験指導					
		とても役立つ	役立つ	どちらとも	あまり役立たない	教えていない	計
CLIL実践	実践している	4	9	14	0	0	27
	実践しようとしている	1	7	10	0	2	20
	実践していない	1	2	0	1	3	8
	計	6	18	24	1	5	55

受験に役立たないという回答はないものの、役立つという確信もそれほど高くない

		理論と実践				
		深く学びたい	学びたい	どちらとも	教えていない	計
CLIL実践	実践している	15	12	0	0	27
	実践しようとしている	9	8	1	2	20
	実践していない	2	3	3	1	9
	計	26	23	4	3	56

実践者・非実践者ともに理論と実践を学びたいものが多数(アンケート回答者のため当然の結果ではある)

CLIL初等中等教育調査：記述１

【Q49: CLILを実践したいと思ったきっかけ/実践したくない理由】

実践したいと思ったきっかけ	回答数(小)	回答数(中高)
1. CLIL が**有効である**と感じた、興味を持った	12	17
2. CLIL に関する講義や研修会に影響された	4	5
3. CLIL を実践している同僚・知人に影響された	1	3
4. 他教科との関連性があると感じた	1	3

例: 使える英語、面白い、学ぶ意欲・思考力が高まる、授業の質の向上

CLILを実践したくない理由 (若干名):

-授業準備・評価の負担
-他の業務で忙しい
-CLILに関する知識不足
-勤務校の制限 、周囲の理解を得られない

結果を踏まえて:

-多様な観点からCLILの効果を実感している
→**今後も発信していく必要性**

-CLILに興味を持っていても実践できない状況
→**準備を軽減し、導入しやすくする必要性**

CLIL初等中等教育調査：記述２

【Q50: CLILを実践して良かったこと/実践しなくて良かったこと】

実践して良かったこと	回答数(小)	回答数(中高)
児童生徒の情意面への良い影響があった	12	11
教員の情意面への良い影響があった	1	2
英語力・思考力・理解力などの技能が向上した	4	7
他教科・探究活動との関連性があった	4	1
授業内容に柔軟性が生まれた、内容が改善した	2	10

※複数回答あり

例:

-生徒の良い反応

-教員も楽しい

-同じ教材を異なる学年でも再利用できた

CLILを実践しなくて良かったこと(若干名):

-授業準備・評価の負担が少ない
-実践しなくても、進学実績が上がった
-英語に苦手意識を持つ生徒への配慮

結果を踏まえて:

-小・中・高の全てにおいて、児童生徒の情意面に関する回答が多かった→**学ぶ楽しさを覚え、主体的な学びへとつながる**

-中・高では、授業の柔軟性や授業が改善したという回答も多い→**深い学びへとつながる**

CLIL初等中等教育調査：記述３

【Q51: CLILを実践して、失敗したこと】

失敗したこと			回答数(小)	回答数(中高)
授業準備における失敗	準備不足	目標設定の曖昧さ	2	1
内容面における失敗	内容と言語のバランス	内容に関する知識不足	4	6
言語面における失敗		日本語が多くなった	5	5
児童生徒の負担、足場がけにおける失敗		ヒントの出しすぎ	1	3
他の教員との連携における失敗		他教員をうまく巻き込めなかった	0	2

※複数回答あり

結果を踏まえて:

-自分の失敗を客観的に評価し、次につなげようとしている教員が多い
→試行錯誤をしながらのCLIL実践

CLIL初等中等教育調査： 記述４

【Q52: CLILを実践を通じて、自身や生徒の変化】

CLIL 実践している教員の意見	回答数(小)	回答数(中高)
児童生徒の意識・反応・情意面での変化があった	8	12
教員の意識の変化があった	4	15
英語の技能・記憶力の変化があった	2	0

※複数回答あり

例: 生徒の内容・英語に対する興味・意識の向上、

教員が授業の形態を柔軟に考える、授業に使える教材へのアンテナを張るように

CLILを実践していない教員の回答例(若干名):

-CLILとまではいかないが、他教科の内容を扱うと生徒の食いつきが違う
-社会問題を扱うと生徒の問題意識が芽生える。
-受け身的授業の脱却が私自身も本校も必要。

結果を踏まえて:

-児童生徒・教員の意識の変化が多くあった。
→**継続的な学習者の育成、授業改善へとつながる**

-「CLILを実践していない」という教員の中にも、実はCLILのような授業をしている人もいるのでは？
-今までのやり方を変えようと思っている教員がいる。

CLIL初等中等教育調査：記述５

【Q54: CLIL実践/授業の現状課題】

CLIL 実践の現状課題	回答数(小)	回答数(中高)
授業準備の大変さ、準備時間不足	1	9
勤務校・教科書の制約、児童生徒・教員・社会の理解	8	7
児童生徒の英語力不足、内容と言語のバランスの取り方	1	0
評価方法の確立	1	2
教員の内容や CLIL に関する知識不足	1	4
教員の英語力不足、教員の確保	6	2

※複数回答あり

例:

-従来からある教育システム

-定期テストへの対応

-生徒の要望への対応

(文法説明など)

-教員研修の必要性

CLILを実践していない教員の回答例(若干名):

-授業準備の大変さ、準備時間不足

-周りの教員の理解

-CLILに関する知識不足

-大学入試(従来の方法を継続する大学)

-モチベーション・英語力が低い生徒

結果を踏まえて:

-小・中高ともに勤務校等の制限が課題であった。

-中高の教員は準備時間不足が多くあがった

→CLIL実践の準備を軽減する必要性

-小学校教員は英語力不足も課題として多くあがった。

-CLILに興味はあるが、実践できない教員への対応。

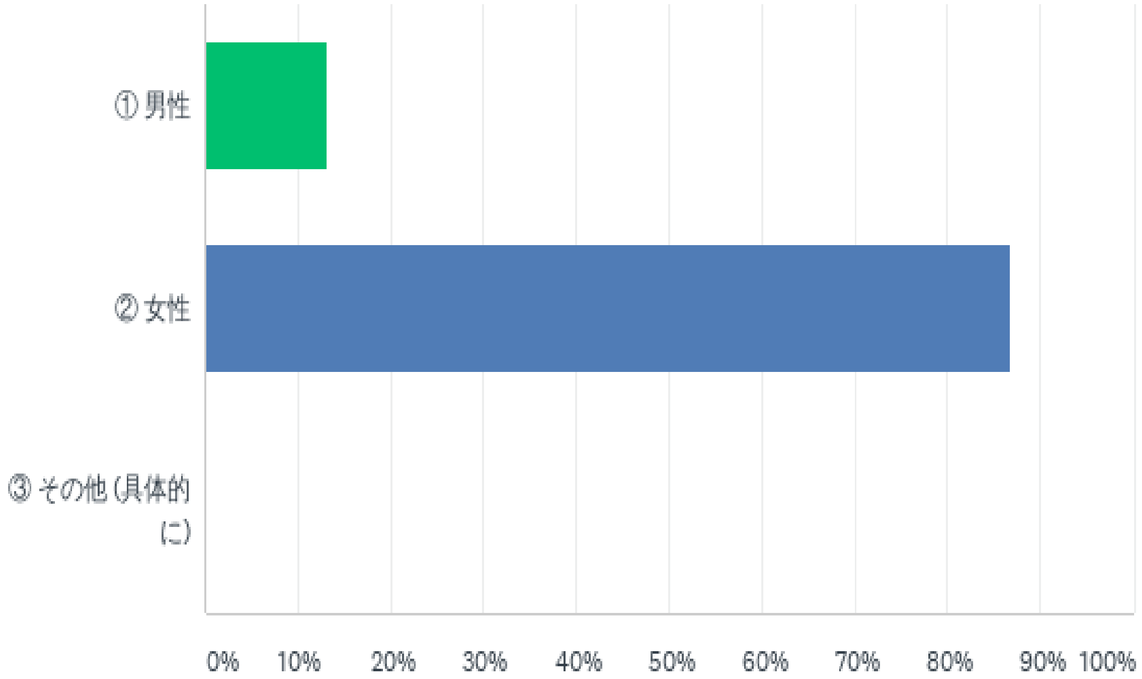
CLIL英語以外の調査報告

抜粋

笹島茂（東洋英和女学院大学）

Q1: あなたの性別を教えてください

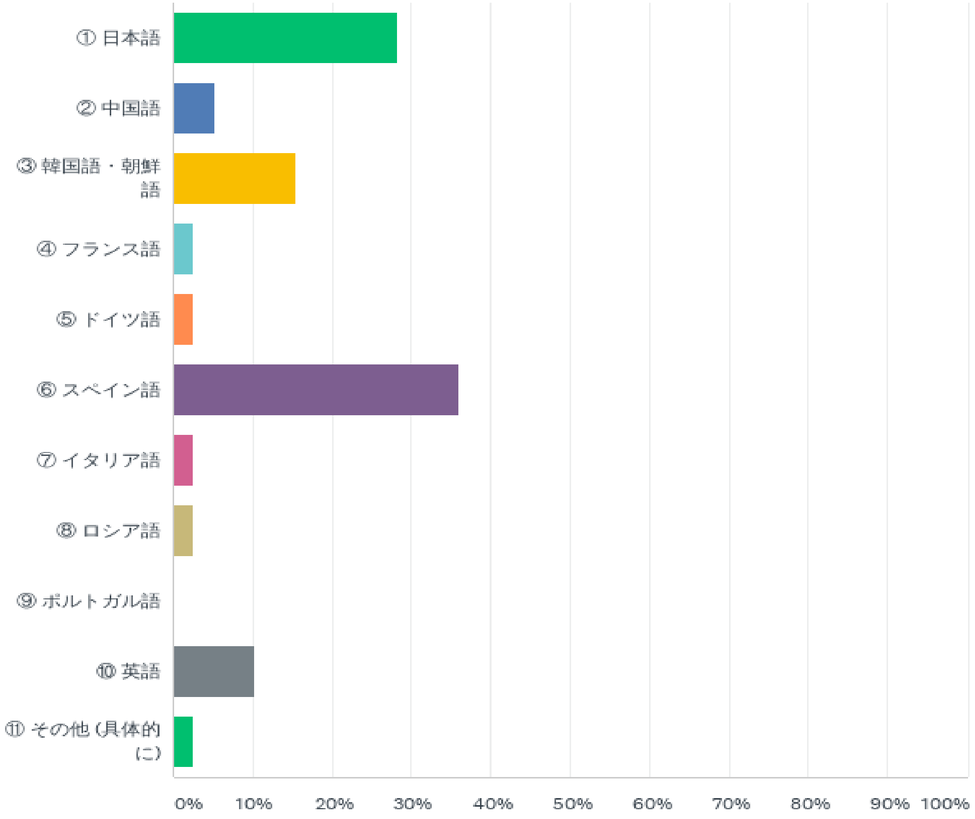
回答数： 38　スキップ数： 1



回答の選択肢	回答数	
① 男性	13.16%	5
② 女性	86.84%	33
③ その他 (具体的に)	0.00%	0
合計		38

Q4: あなたが教えている言語について教えてください（複数回答可）

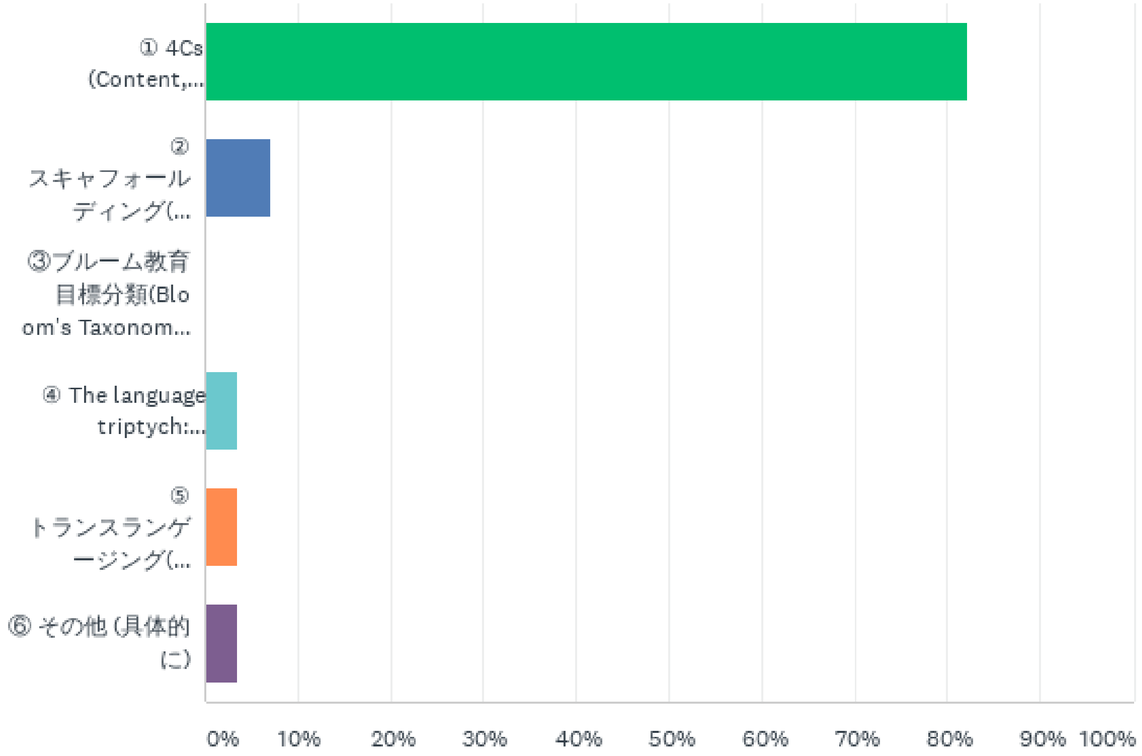
回答数： 39　スキップ数： 0



回答の選択肢	回答数	
① 日本語	28.21%	11
② 中国語	5.13%	2
③ 韓国語・朝鮮語	15.38%	6
④ フランス語	2.56%	1
⑤ ドイツ語	2.56%	1
⑥ スペイン語	35.90%	14
⑦ イタリア語	2.56%	1
⑧ ロシア語	2.56%	1
⑨ ポルトガル語	0.00%	0
⑩ 英語	10.26%	4
⑪ その他 (具体的に)	2.56%	1
全回答数: 39		

Q23: CLILの原理(principles)でよく知られているものがあります。あなたは、次のうちどの原理が最もCLILの特徴を表していると考えますか

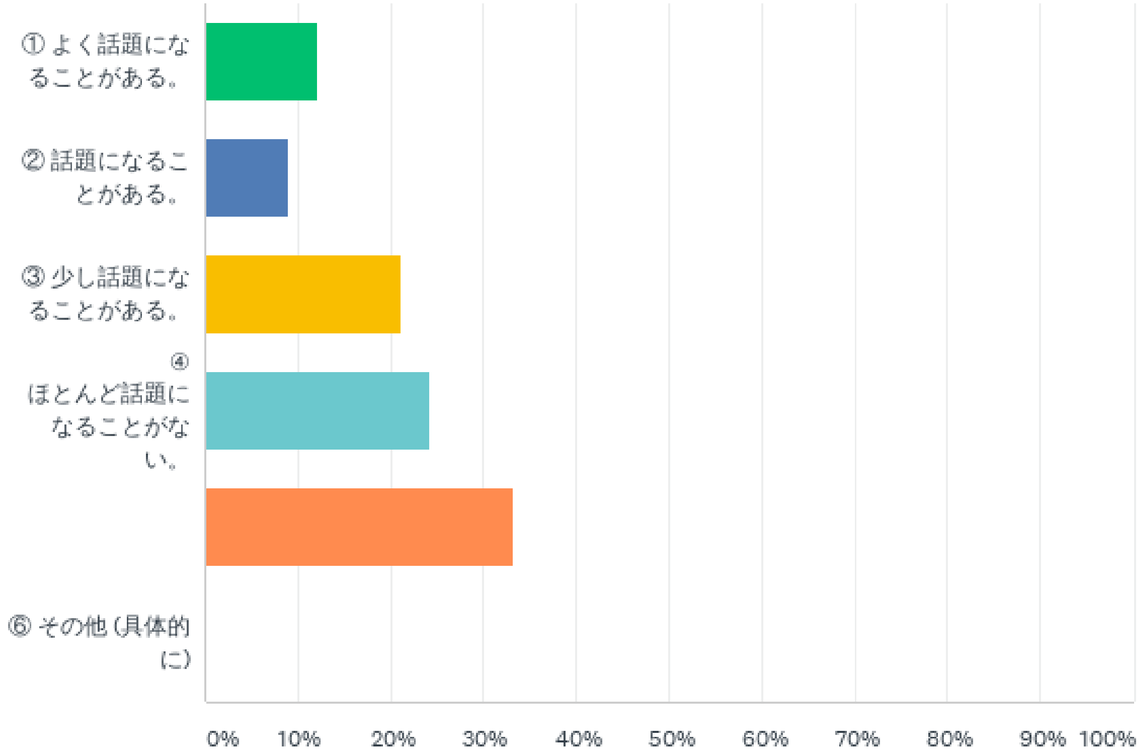
回答数： 28　スキップ数： 11



回答の選択肢	回答数	
① 4Cs (Content, Cognition, Communication, Culture)	82.14%	23
② スキャフォールディング(Scaffolding)	7.14%	2
③ブルーム教育目標分類(Bloom's Taxonomy of Educational Objectives)	0.00%	0
④ The language triptych: language of/for/through learning	3.57%	1
⑤ トランスランゲージング(translanguaging)	3.57%	1
⑥ その他 (具体的に)	3.57%	1
合計		28

Q33: CLILがあなたの職場（学校など）で話題になることがありますか

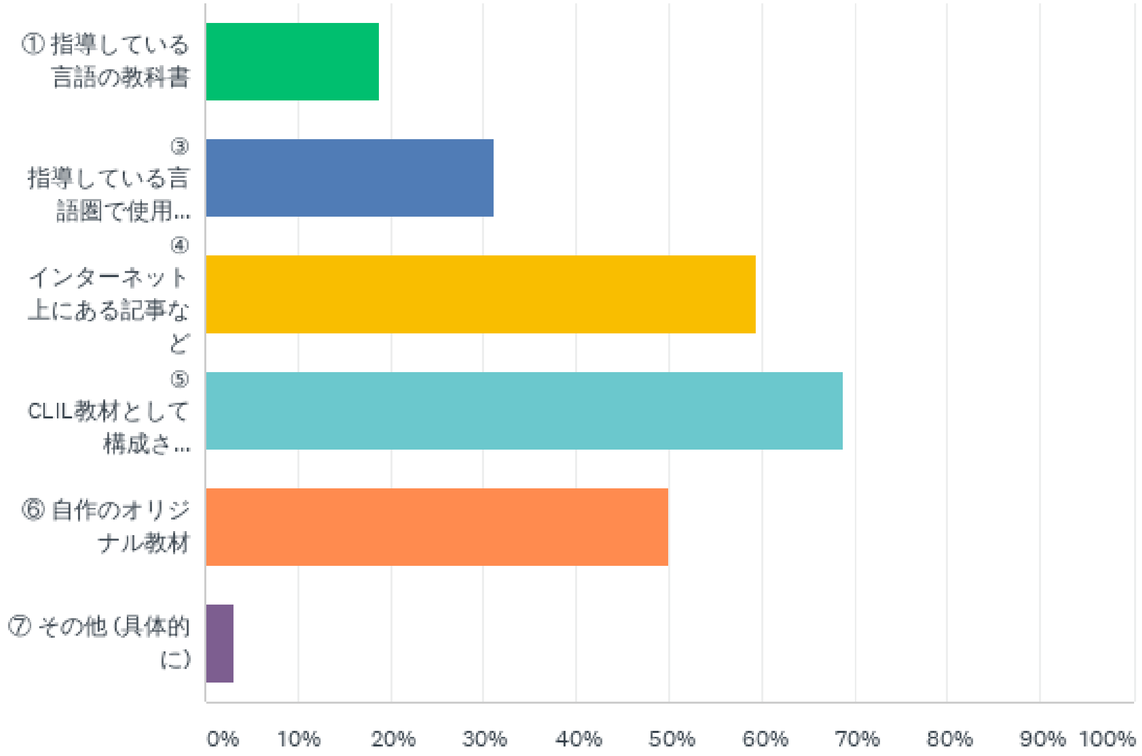
回答数： 33　スキップ数： 6



回答の選択肢	回答数	
① よく話題になることがある。	12.12%	4
② 話題になることがある。	9.09%	3
③ 少し話題になることがある。	21.21%	7
④ ほとんど話題になることがない。	24.24%	8
⑤ まったく話題になることがない。	33.33%	11
⑥ その他 (具体的に)	0.00%	0
合計		33

Q36: あなたは、CLILの教材として次のどれがよいと思いますか（複数回答可）

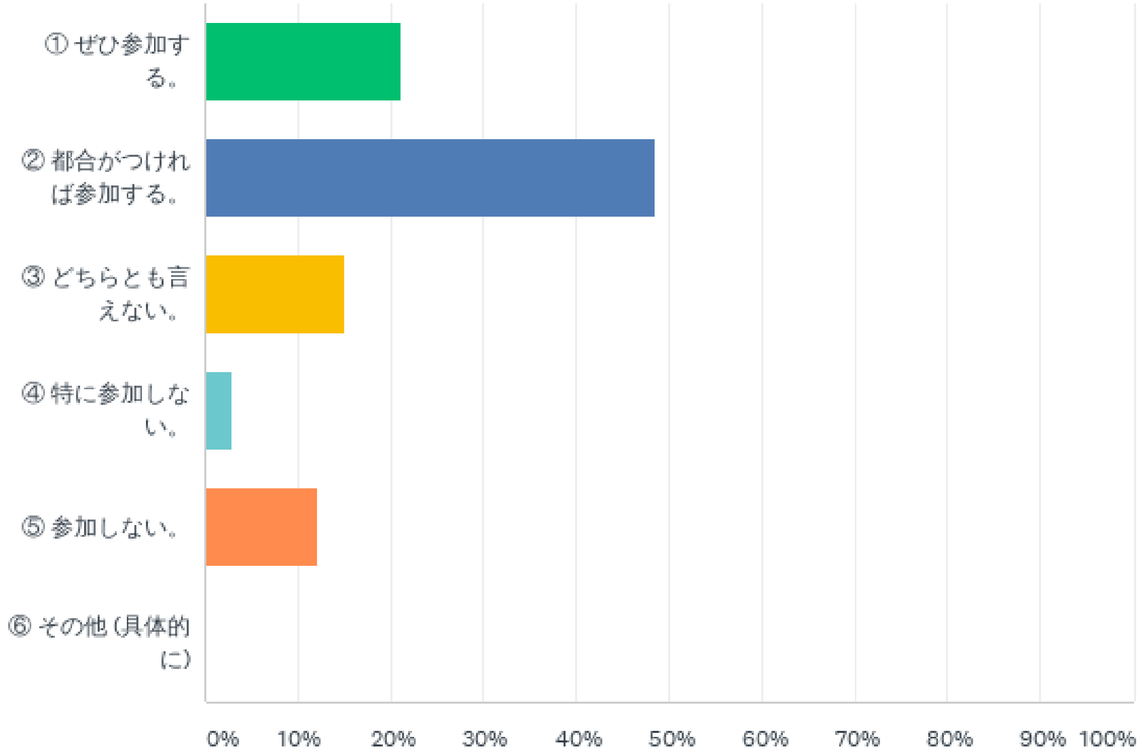
回答数： 32　スキップ数： 7



回答の選択肢	回答数	
① 指導している言語の教科書	18.75%	6
③ 指導している言語圏で使用されている各教科の教科書	31.25%	10
④ インターネット上にある記事など	59.38%	19
⑤ CLIL教材として構成された教材	68.75%	22
⑥ 自作のオリジナル教材	50.00%	16
⑦ その他 (具体的に)	3.13%	1
全回答数: 32		

Q37: あなたは、J-CLIL主催のCLIL指導者研修があれば参加しますか

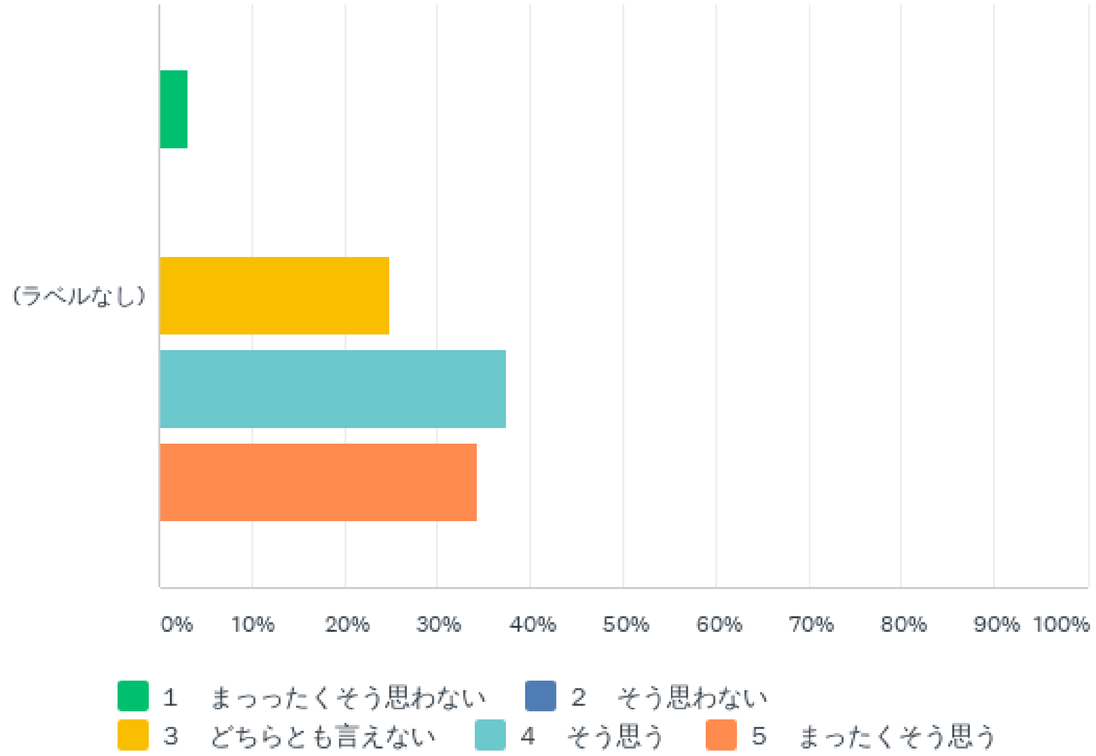
回答数： 33　スキップ数： 6



回答の選択肢	回答数	
① ぜひ参加する。	21.21%	7
② 都合がつければ参加する。	48.48%	16
③ どちらとも言えない。	15.15%	5
④ 特に参加しない。	3.03%	1
⑤ 参加しない。	12.12%	4
⑥ その他 (具体的に)	0.00%	0
合計		33

Q38: CLILは効果的な教育だ

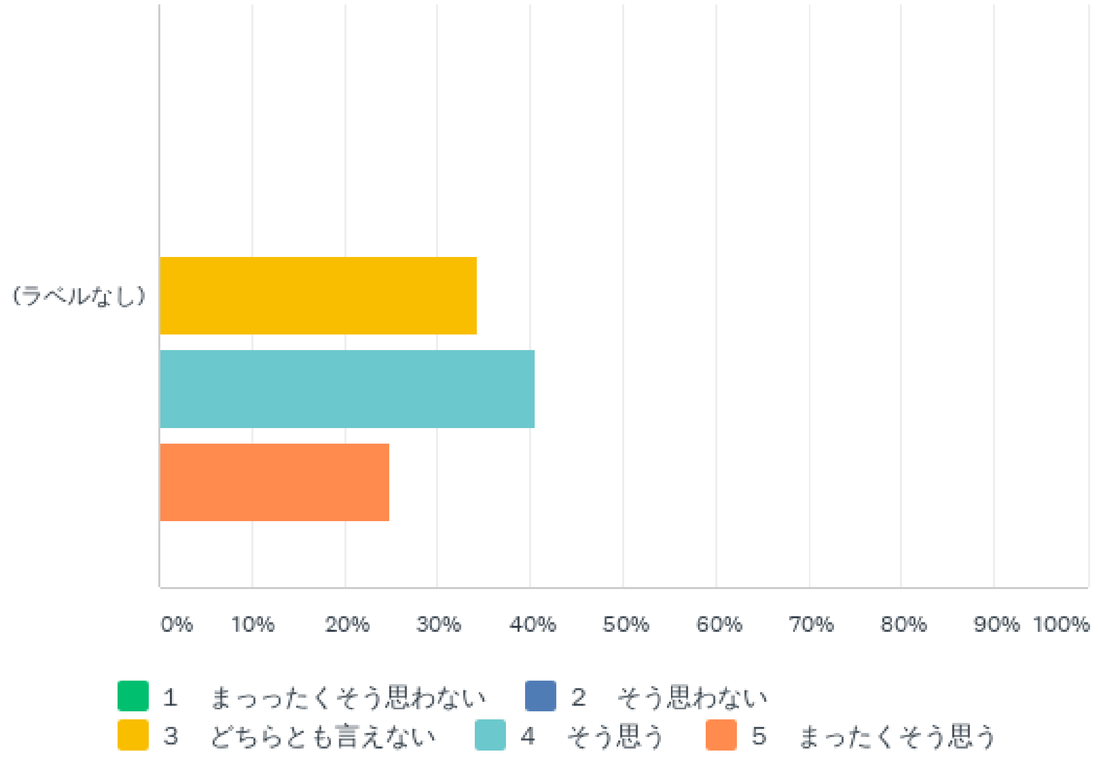
回答数： 32　スキップ数： 7



	1　まっったくそう思わない	2　そう思わない	3　どちらとも言えない	4　そう思う	5　まったくそう思う	合計	加重平均
(ラベルなし)	3.13% 1	0.00% 0	25.00% 8	37.50% 12	34.38% 11	32	4.00

Q46: CLILの授業の第一歩は、学びを考えるところから始まる

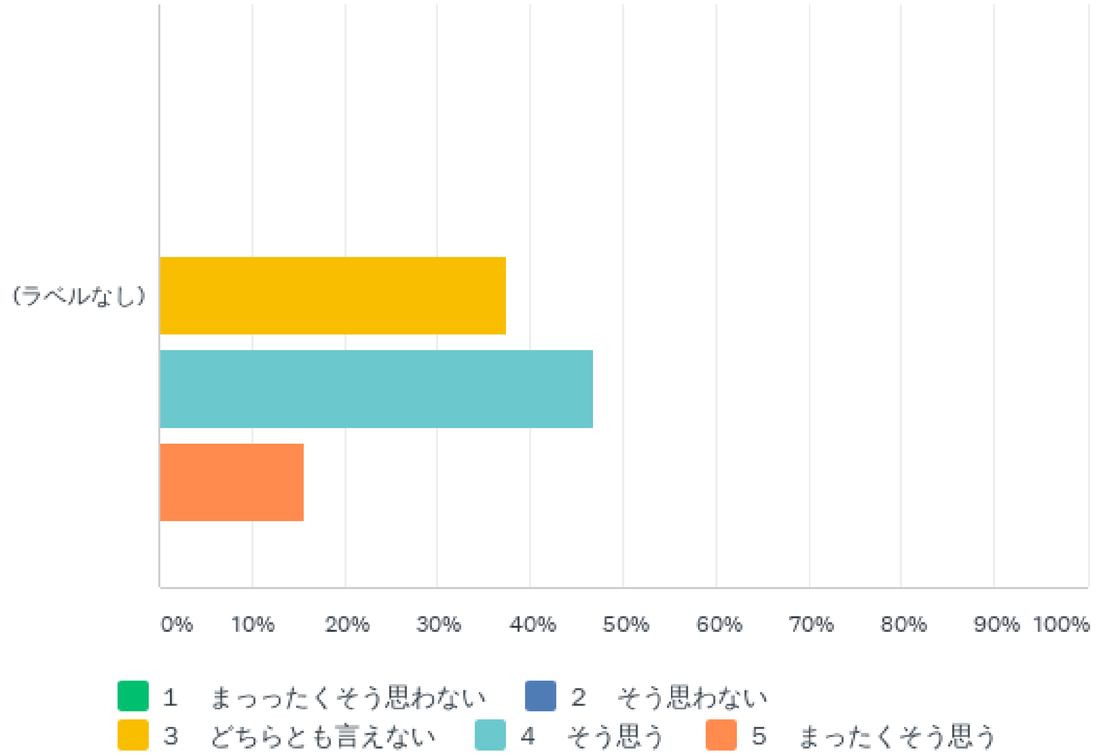
回答数： 32　スキップ数： 7



	1　まっったくそう思わない	2　そう思わない	3　どちらとも言えない	4　そう思う	5　まったくそう思う	合計	加重平均
(ラベルなし)	0.00% 0	0.00% 0	34.38% 11	40.63% 13	25.00% 8	32	3.91

Q48: CLILは、日本語などの母語や学習目標の言語をトランスランゲージング（適宜状況に合わせ言語を交差して使用）の中で、学ぶと効果的だ

回答数： 32　スキップ数： 7



	1　まったくそう思わない	2　そう思わない	3　どちらとも言えない	4　そう思う	5　まったくそう思う	合計	加重平均
(ラベルなし)	0.00% 0	0.00% 0	37.50% 12	46.88% 15	15.63% 5	32	3.78

【J-CLIL CLIL実態調査メンバー】

笹島茂（東洋英和女子大学）委員長
池田 真（上智大学）
土屋慶子（横浜市立大学）
仲谷 都（日本大学）
油木田美由紀（東洋英和女学院大学）
藏本真衣 （鹿児島大学）
安部由紀子（東京都庁・慶應義塾大学）
相羽千州子（静岡県立大学）
鯉渕健太郎 （横浜女学院中学校高等学校）
高木由香里（神奈川県立鶴見総合高等学校）
髙田真紀（玉川学園 高等部）
山野有紀（宇都宮大学）
田所貴大（宇都宮大学）
Michele Joel（杏林大学）
高橋昌由（大阪成蹊大学）
教育開発出版（経塚、渡邉）